



DIVE DEMO SOLIS

取扱説明書

Watch & Dive Computer
Operating Manual

まえがき

お買い上げありがとうございます。

本製品は、レジャーダイビングにおける使用を前提とした潜水器材です。

レジャーダイビング時において「水深、時間を計測するとともに安全なダイビングを行うために参考となる情報を表示」します。

本書は、レジャーダイビング用ダイブコンピュータをご使用いただくための取扱説明書です。

本書は国際的に認知されている潜水指導団体の講習を受けCカードを取得した方はもちろん、講習等でご使用になる方にも、ダイブコンピュータの正しい使用方法を習得する上で役に立つものと考えております。

本書を良くお読みになり、内容を十分理解された上で実際にご使用くださいますようお願い致します。また、ダイビング前にこの説明書を見られるよう、お出かけの際はいつもお持ちいただくことをお勧めします。

本取扱説明書は紛失なされぬよう大切に保管してください。

紛失された際は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店におたずねください。

ダイブコンピュータに関する不断の研究・改良の結果、この取扱説明書の内容の中にお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましては、下記までご遠慮なくお問合せください。

株式会社ビーイズム

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町16-8 TOOKビル3F

電話 (03) 5640-8126 FAX (03) 5640-8131

Mail : info@bism.co.jp

URL : <http://www.bism.co.jp>

必ずお読みください

安全上のご注意

ダイブコンピュータを安全にご使用いただくためには、正しい操作と、定期的な保守・点検が不可欠です。この取扱説明書に指示されている安全に関する注意事項を、よくお読みになってからダイビングを行ってください。

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するため、いろいろなマークを使用しています。

その表示や、意味は以下の通りです。

▲危険 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる能性が極めて高い事柄です。

▲警告 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる可能性がある事柄です。

▲注意 守らないと人が障害を負う危険や物損事故が起きる可能性がある事柄です。

【お知らせ】知っていると便利な操作や解説です。

▲危険

- 本製品を使用する場合は、国際的に認知されている潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し器材の正しい取扱い方法を身につけた後、または潜水指導団体の指示のもとでご使用ください。人身事故につながる恐れがあります。
- 絶対に一人で潜らず、必ずバディシステムを守るようにしてください。単独潜水は、重大な事故につながる可能性があり、大変危険です。
- ナイトロックス(EANx)ダイビングで使用する場合は、ナイトロックス(EANx)ダイビングに関する講習を受講し、修了されていることが条件です。受講修了されていない方は使用しないでください。
参考 EANx: Enriched Air Nitrox (略称: ナイトロックス)
通常使用する圧縮空気(酸素比率21%)よりも酸素の割合を高くした混合ガス。
- 酸素比率設定は、必ずダイビング毎に設定してください。タンクの酸素比率と本製品の酸素比率設定値が合致していないと非常に危険です。

必ずお読みください

▲ 危険

- 本製品をご使用になる前に、必ず本書により、取り扱い方法、および警告や注意事項をすべて理解してください。また、海洋等で本格的に使用する前に、使い方を理解してからご使用ください。
- 減圧停止指示違反警告、および計測範囲外警告が表示された場合は、必ずその日のダイビングは中止し、減圧症に似た症状がみられる場合は、専門医の診察をお受ください。
- 本製品に異常が見受けられた場合、速やかに使用を中止し、お買い上げ店もしくは弊社商品販売店にご相談ください。

▲ 警告

- スクーバダイビングを行う際には、必ず良好な健康状態で行なってください。少しでも体調に不安を感じた場合には、絶対に無理は避けダイビングを中止してください。
- スクーバダイビングを行なう前にはアルコール類の摂取や、薬品類の服用は避け、体調の悪い方や持病のある方は必ず事前に医師の診断をお受ください。
- 本製品は、一般の健康で平均的体力を持った人を基準に設計しています。
- 個々のダイバーはそれぞれ自分にあった安全なダイビングの計画遂行を、責任持って行なってください。
- 本製品は、減圧症などの疾患を必ず防止できるものではありません。表示より控えめなダイビングを行なってください。減圧症をはじめ、その他さまざまなダイビングを起因とする疾患の原因となります。
- 減圧潜水はしないでください。本製品は、無減圧潜水での使用を前提にしています。万一のため減圧潜水での情報も提供しますが、人身事故の原因となります。
- 本製品をレジャーダイビング以外の目的で使用しないでください。
- 本製品は、酸素比率21%（圧縮空気）と酸素比率22%～100%のナイトロックス（EANx）ガス用です。他の混合ガスでは使用できません。
- 潜水後24時間以内の飛行機搭乗、高所への移動はお止めください。気圧が下がるため減圧症になる危険性が非常に高くなります。ダイビングを行なったあとは、24時間できれば48時間の休息の後、高所への移動や飛行機への搭乗をすることをお勧めします。
- 本製品の警告表示、注意メッセージには直ちに從ってください。従わない場合は減圧症になる可能性が高くなります。

必ずお読みください

⚠ 警告

- 本製品を使う場合も、バックアップツールとして他の機器(水深計、ダイバーズウォッチ等)と併用してください。
- 本製品は、タンク内空気残圧の計測、及び表示と管理は行いませんので、ダイバーご自身で残圧計を使用し、チェックしてください。
- 本製品を使用した後、体内窒素が残っている状態で、他人に貸借したり、共用することは絶対にしてはいけません。
- 本製品のデータを使用者以外のダイバーのデータとして使用してはいけません。
- お客様自身で、本体の分解、修理、改造、二次電池交換、圧力チャンパーテストなどを行ってはいけません。適切な知識が無い状態で行うと故障の原因になり、非常に危険です。
- 本製品で使用しているバッテリー(二次電池)を取り外した場合は、誤って飲み込んでしまうことが無いようにしてください。バッテリーは、小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談してください。
- 使用頻度にかかわらず、毎年1回、定期的に点検を行ってください。特に、前年のシーズンから3ヶ月以上使用していない場合などは、使用前に必ず点検してからご使用ください。

⚠ 注意

- ガソリン等の溶剤類、化粧品等のスプレー液やクリーナー液、接着剤及び塗料などが付着したり、アルカリ、酸等で変質することがあります。これらにより防水性能の低下、破損することがありますので十分注意してください。
- エアブローなどで強い空圧を吹き付けしないでください。センサー故障の原因となります。
- 本製品のセンサーは精密機械ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒で突いたり、ゴミ・埃などが入らないようにご注意ください。なお、海水でご使用の場合は、必ず真水で洗い流してください。センサーの故障につながる場合があります。
- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近くなどの高温になる場所に放置しないでください。また、寒いところにも長く放置しないでください。時刻の遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上のところに長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

必ずお読みください

▲注意

- 本製品に記憶させた内容は、ノートに書くなどして、必ず控えを残してください。製品の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。
- 本製品に表示される情報の確認は、思わぬ怪我や事故の予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特にダイビング中は、事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。
- 本体およびバンドの金具部は、汚れから錆が発生し、衣服の裾口を汚すことがありますので、常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後は、放置しておくとも錆易くなります。
- 本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によっては、かぶれを起す恐れがあります。
 - ①金属・樹脂に対するアレルギー
 - ②製品の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
 - ③体調不良など
 - ・バンドをきつく締めると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますので、かぶれ易くなります。普段使いでは、バンドに余裕をもたせてご使用ください。
 - ・万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。
- 思わぬ怪我やアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は本製品を外すなど十分にご注意ください。
- 幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、本製品を外すなど十分にご注意ください。
- 本体(裏蓋を含む)やバンドに製品保護シールが貼ってある場合は、ご使用になる前に必ず剥がしてください。シールを剥がさずにご使用になると、「本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、錆びやかぶれの原因となります。
- オートライト作動状態のとき、本製品を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですでお止めください。交通事故の原因となることがあります。
- 裏蓋をあげないでください。水没や故障の原因となります。
- 電池の消耗や静電気、衝撃等により、機器の故障やコンピュータにリセットがかかったり、データが消えることがあります。

必ずお読みください

▲ 注意

- 磁気によって動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでご注意ください。なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 樹脂部品を長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色落ちしたり、他の製品の色が樹脂部品に移ったりすることがありますので、濡れているときは、すぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 樹脂部品を長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色褪せする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃など）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

目次

◆まえがき	2
▽必ずお読みください	3
◆本書で使われているマークについて	3
▽目次	8
▽各部のなまえと主な機能・特徴	11
▽ご使用いただく前に	15
◆充電量の確認	15
▽光で充電（ソーラー充電）	16
◆充電方法	16
◆充電不足や充電切れ	17
◆充電にかかる時間	18
◆充電レベル警告	18
◆節電（パワーセービング機能）	19
▽時計モード	20
▽ホーム都市の設定と時計の合わせ方	20
◆ホーム都市、サマータイムの設定	21
◆時計と日付の設定	22
▽ダイブモード（D I V E）	24
◆ダイブモード	24
◆無減圧潜水	25
◆セーフティストップ（安全停止）	31
◆サーフェイスモード	32
◆反復潜水	33
◆ナイトロック（E A N x）ガスチェンジダイビング	34
◆複数ガス設定時のダイビング（ガスチェンジ）	35
▽ダイブモード（減圧潜水）	39
◆減圧潜水警告	39
◆減圧潜水（減圧停止前）	40
◆減圧潜水（減圧停止中）	43
▽ダイビング中の警告	48
◆浮上速度警告	48

目次

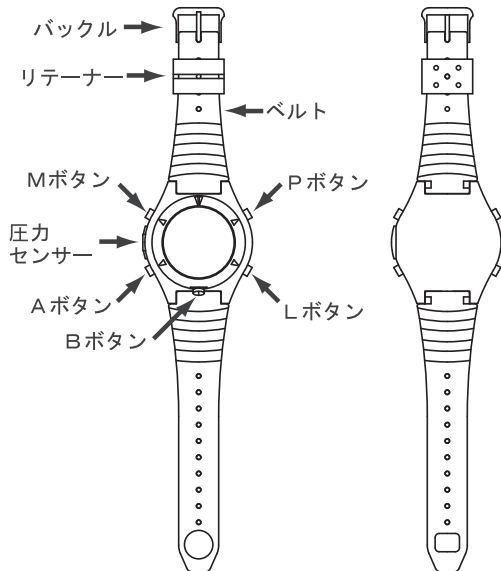
◆減圧停止指示違反警告	49
◆体内酸素量警告	50
◆酸素分圧警告	50
◆計測範囲外警告	51
▽ログモード (LOG)	52
◆ログモードにする	53
◆ログを確認する	54
◆ボタン操作	55
◆履歴を確認する	59
▽プランモード (PLAN)	60
◆プランを確認する	62
◆酸素比率を設定する	63
◆セーフティファクタを設定する	66
◆深度インターバルアラームを設定する	67
◆ゲージモードを設定する	69
▽高所潜水及び淡水ダイビングについて	70
▽フリーダイブモード	72
▽ゲージモード	81
▽方位測定 (COMP)	86
◆方位を計測する	87
◆方位を補正する	87
◆方位計測のご注意	89
▽ストップウォッチ (STW)	90
◆ストップウォッチを選ぶ	90
◆計測する	91
▽タイマー (TMR)	92
◆タイマーを使う	92
◆計測時間を設定する	93
◆計測する	93
▽アラーム・時報 (ALM)	94
◆アラーム・時報を使う	94

目次

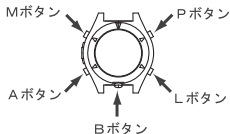
◆アラーム時刻を設定する	95
◆アラーム音のON/OFF	96
▽ワールドタイム (WT)	97
◆ワールドタイムモードを使う	98
◆他のタイムゾーンの時刻を見る	98
◆サマータイム (DST) の設定	98
▽ソーラー発電量表示	99
◆ソーラー発電量を表示する	99
▽気圧/温度計 (BARO)	101
◆気圧/温度を計測する	101
▽ライト	102
◆オートライトの設定/解除	103
▽各種設定	104
◆ボタン操作音の設定	105
◆ライト点灯時間の設定	106
◆節電 (パワーセービング機能) の設定/解除	106
◆DISP画面設定	107
◆ログ本数の設定	108
◆単位の設定	109
▽故障?と思った時は	110
▽お手入れについて	114
▽アフターサービスについて	115
▽製品仕様	116
▽都市コード一覧	118

各部のなまえと主な機能・特徴

DIVE DEMO SOLIS本体



各部のなまえと主な機能・特徴



本製品には5つの操作ボタンがあります。

- ・左上 - M (モード) ボタン
- ・右上 - P (プラン) ボタン
- ・右下 - L (ログ) ボタン
- ・左下 - A (アジャスト) ボタン
- ・中下 - B (バックライト) ボタン

本書ではそれぞれMボタン、Pボタン、Lボタン、Aボタン、Bボタンと称し解説しています。

時計としての機能

本製品には8つの時計モードがあります。

- 時計モード1 "TIME1" 表示
時/分、日付、曜日
- 時計モード2 "TIME2" 表示
時/分、日付、秒
- 方位測定 "COMP" 表示
方位や角度の計測
- ストップウォッチ "STW" 表示
経過時間の計測
- タイマー "TMR" 表示
タイマーの設定、計測
- アラーム "ARM" 表示
アラームの設定、時報の設定
- ワールドタイム "WT" 表示
世界48都市(31タイムゾーン)の時刻を表示
- 気圧表示 "BARO" 表示
気圧と温度を計測



各部のなまえと主な機能・特徴

ダイブコンピュータとしての機能

本製品には6つのダイブコンピュータモードがあります。

- ダイブモード " D I V E" 表示
 - 無減圧潜水時間
 - セーフティストップ
 - 減圧潜水
 - ナイトロックス/ガスチェンジダイビング (4 G)
- フリーダイビングモード
 - 深度計
 - 潜水時間
 - ログ (フリーダイブ専用)
- ゲージモード
 - 深度計
 - 潜水時間
- サーフェイスモード " T I M E 1 及び 2" 表示
 - 体内残留窒素排出時間
 - 水面休憩時間
- ログモード " L O G" 表示
 - ダイブログ
 - (ダイブプロファイル)
 - ダイブヒストリー
- プランモード " P L A N" 表示
 - ダイブプラン
 - 酸素比率 ガス4本
 - 深度インターバルアラーム
 - セーフティファクタ

各部のなまえと主な機能・特徴

- 時間精度 : 平均月差±15秒
- センサー計測精度
 - 方位センサー : ±10°以内
 - 温度センサー : ±2°C以内
 - 圧力センサー : ±1%+0.5m
- 計測間隔
 - 深度計測 : 1秒 フリーダイビング時0.5秒
 - 水温計測 : 1秒
 - 気圧計測 : 20秒
- 計測範囲
 - 深度 : 1.0m~99.9m
 - 潜水時間 : 0分~599分
 - 動作気圧 : 460hPa以上 (高度約6000mまで)
 - 温度 : -10°C~60°C
 - 方位 : 0~359° 方位補正機能(2点)
- 酸素比率 : 21%(圧縮空気)~100% 設定最大4本
- 防水性能 : 100m
- ログデータ : スクーバダイビングログ/フリーダイビングログ
「30本/0本」(デフォルト)「0本/60本」「5本/50本」
- 使用電池 : 二次電池
フル充電状態からソーラー発電無での状態の駆動時間
約1ヶ月(1日1ダイブ60分の時)
- 減圧モデル : AAピュールマン 16組織

【お知らせ】

電池持続時間について、本製品はソーラーパネルで発電した電気を充電したバッテリー（二次電池）で動作します。

時計を外している時は、光が当たる明るい場所に置いてください。

一ヶ月に半日ほど日光に当てて充電すると、より安定してご使用できます。腕に付けているときは文字板（ソーラーパネル）が衣類の裾にかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

ご使用いただく前に

本製品をお使いになる前に、「充電」と「時刻・日付の設定」が必要です。十分に充電し、時刻と日付の表示を合わせてからご使用ください。

充電量の確認

■充電状況

画面右部の[H][M][L]で充電状況を確認してください。

[H]が点灯している。

[M]が点灯している。

…… 充電されています。

→「都市の設定と時刻の合わせ方」に進んでください。

(P 20へ)

[LOW]の文字が点滅している。

[L]が点灯している。

[CHG]の文字が点滅している。

…… 充電が不十分です。

→時計に光を当てて充電してください。

(P 16へ)



BATTERY
インジケータ



BATTERY
インジケータ

光で充電（ソーラー充電）

光で発電（ソーラー充電）

本製品は、ソーラーパネルで発電した電気を充電したバッテリー（二次電池）で動作します。

- ・ソーラーパネルは文字板と一体になっています。
- ・文字板に十分な光が当たっている時に、発電と充電をします。

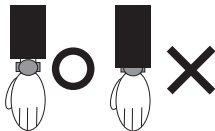
ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

充電の方法

時計を外している時は、光が当たる明るい場所に置いてください。

一ヶ月に半日ほど日光に当てて充電すると、より安定して使用できます。

腕に付けているときは文字板（ソーラーパネル）が衣類の裾にかからないように心がけてください。文字板が（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



▲注意

●充電の際、光源の条件や環境によっては本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また以下のような高温下での充電は避けてください。

- 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
- 白熱灯などの発熱体に近い所
- 直射日光が長時間当たり、高温になる所

●極端な高温下では液晶パネルが黒くなるがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

光で充電（ソーラー充電）

充電不足や充電切れ

表示	充電状態	本製品の状態
H	良好	通常
M		
CHGだけ点滅	充電不足	[CHG]の文字だけが点滅し、その他の表示が通常通り点灯している場合は、ダイブモードに移ることはできません。ダイビングで使用できません。その他の機能は、通常通り使用可能です。
LOW or L点滅		[LOW]と[L]（場合によっては[L]のみ）が点滅している場合は、以下の機能が使用できなくなります。 ・ダイブモード ・方位計測 ・ライト点灯 ・音（アラームなど）
H・M・LとCHGが点滅		[H][M][L]と[CHG]が一緒に点滅している時は、現在時刻の表示など、一部の機能が使用できます。
CHGだけ点滅（全消灯）		[CHG]だけが点滅し、その他の表示が全部消えている時は、すべての機能が使用できなくなります。
全消灯	充電切れ	すべての機能停止 初期設定（工場出荷時）の状態になります。

【お知らせ】

- 充電切れになると機能が停止し、全ての設定は初期設定（工場出荷時）の状態に戻ります。時刻や日付など、各種設定をする時は、画面右部の表示が[M]または[H]になるまで充電してください。
- 直射日光や強い光が当たる場所で充電すると、一時的に実際の充電量よりも高いレベルを表示することがあります。

光で充電（ソーラー充電）

充電にかかる時間

充電の目安として下表をご活用ください。

◆充電量の回復に必要な時間

環境（照度）	充電レベル警告からダイビング可能になるまでの充電時間	充電レベル警告からフル充電になるまでの充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約1時間	約8時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約2時間	約30時間
曇りの日の窓際など（5,000ルクス）	約4時間	約60時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約36時間	---

*実際の充電時間は、環境によって異なります。

また、ソーラー充電量を表示させることができます。

詳しくは、99ページを参照ください。

充電レベル警告

充電レベル警告とは、安全にダイビングでご使用いただくために、ある一定の電圧レベルまで充電量が下がった場合、アラームとメッセージで充電を促す機能です。

本製品は、充電レベルが[L]になるとセンサー類が動作しなくなるため、ダイビングに使用できなくなります。

例えば、充電レベルが[M]の状態ダイビングを開始し、ダイビングの途中で[L]になってしまうと、ダイビングに関する情報の表示ができなくなってしまいます。

そういった危険な状態を回避するため、ある一定の充電量を下回った場合、充電レベルが[H]になるまで充電を促し、[H]になるまでダイビングができない仕組みにしています。

ご使用中のモード	表示警告内容
時計モード及びサーフェイスモード	[CHG]の文字が点滅表示されます。
ダイブモード	[WARNING!! BATT]が5回流れるように表示され、同時に画面右部の[M]マークが点滅します。アラームが6秒間鳴ります。

*警告は、充電レベルが[H]になるまで続きます。その間、ダイビングに使用できません。

光で充電（ソーラー充電）

節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。節電状態にはレベル1とレベル2の2段階があります。

節電レベル	節電開始までの所要時間	状態
レベル1	暗い所に置いてから約1時間	時計モードの場合はセンサー類が停止しています。
レベル2	レベル1の状態が6～7日間	時計機能のみが動作しています。

節電状態は、以下の方法で解除します。

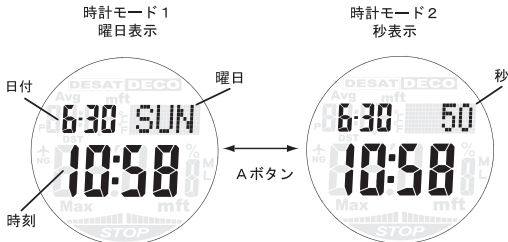
- ・いずれかのボタンを押す
- ・時計を明るい場所に置く
- ・時計を傾けてオートライト機能を作動させる

【お知らせ】

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが裾などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ストップウォッチモードまたはタイマーモード、ダイブモードの時は節電状態になりません。
- パワーセービング機能は設定／解除の切り替えができます。（106ページ参照）

時計モード

時計モードでは、現在の時刻と日付を設定、表示します。
A ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



ホーム都市の設定と時計の合わせ方

ホーム都市は、都市コード一覧表の48都市（31タイムゾーン）の中から、本製品を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を設定します。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム（DST）の設定をします。

* 日本で使用する場合は、都市を東京（TYO）に設定します。

【お知らせ】

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から、1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。

また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

ホーム都市の設定と時計の合わせ方

ホーム都市、サマータイムの設定

- ①時計モードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][H o l d]が点滅した後、約1秒の[C I T Y]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②PボタンまたはLボタンを押して、都市を選びます。
 - ・設定したい都市を表示するまで、PボタンまたはLボタンを押します。
 - ・PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。
- ③Mボタンを押します。
- ④Pボタンを押して、サマータイム（DST）の設定を選びます。
 - ・Pボタンを押すごとに以下のように設定が切り替わります。
DST OFF スタンダードタイムを表示します。
DST ON サマータイムを表示します。
- ⑤Aボタンを押します。
 - ・設定が完了しました。
 - ・サマータイムを設定すると、時計モードの画面に[DST]を表示します。

【お知らせ】

- ホーム都市を[UTC]（協定世界時）に設定している時は、サマータイム（DST）の設定は切り替えできません。
- 都市コードについては都市コード一覧表をご参照ください。（118ページ）

ホーム都市の設定と時計の合わせ方

時計と日付の設定

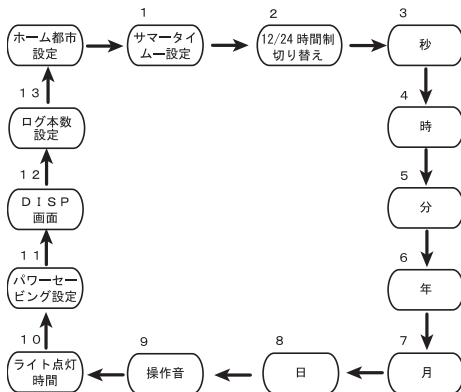
ホーム都市を設定する前に、時計と日付の設定をしないでください。

①時計モードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。

- ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。

②Mボタンを押して、設定したい項目を選びます。

- ・Mボタンを押すたびに以下の順序で設定項目が入れ替わります。



・数字は、Mボタンを押す回数を表しています。

ホーム都市の設定と時計の合わせ方

③各設定で、Pボタン（UP）またはLボタン（DOWN）を押して設定を変更します。

表示	変更項目	操作
TYO	都市コード変更	PまたはLボタンを押す
OFF	サマータイムとスタンダードタイムを切り替え	Pボタンを押す
12H	12時間制(12H)と24時間制(24H)を切り替え	Pボタンを押す
50	秒を「00」にリセット	Pボタンを押す
	30～59秒の時は、1分繰り上がります	
10:58	「時」「分」の変更	PまたはLボタンを押す
2014	「年」の変更	PまたはLボタンを押す
2.17	「月」「日」の変更	PまたはLボタンを押す

④Aボタンを押します。
・設定が完了しました。

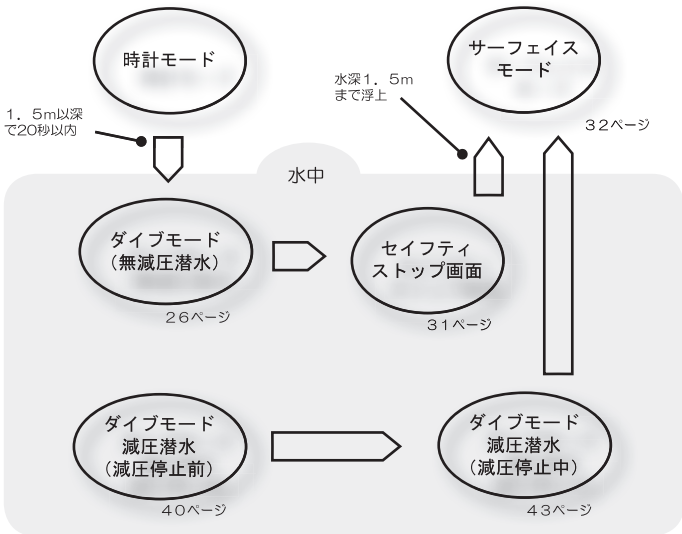
【お知らせ】

- 12時間制に設定したときは、正午から午後11:59まで、午後を示す[P]が点灯します。24時間制の場合は[P]は点灯しません。
- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています。
(～2099年フルオートカレンダー)
- 年月日を設定すると自動的に曜日も設定されます。
- ホーム都市以外で使用するときは、同様に滞在する都市をホーム都市に設定し直してください。
- ホーム都市を東京(TYO)以外に設定すると、温度と深度の単位を変更することができます。設定の仕方については、各種設定の109ページ参照ください。
- 時計と日付以降の設定は、各種設定の104ページ参照ください。

ダイブモード (DIVE)

ダイブモード

 : ボタン操作無し

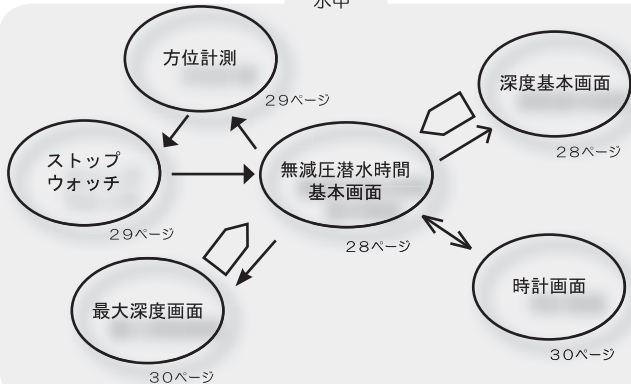


ダイブモード (DIVE)

無減圧潜水時

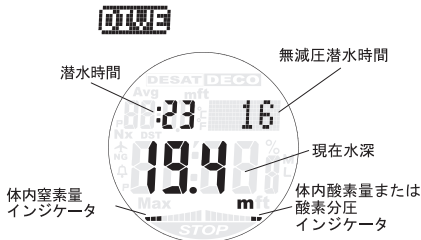


水中



ダイブモード (DIVE)

ダイブモードでは、スクーバダイビング時に必要とされる重要な情報を表示します。



本製品は、入水して、水深1.5m相当の圧力を感知してから20秒以内にダイブモードに自動的に切り替わります。(入水時に速やかにダイブモードに切り替えたい場合は、潜水直前にBボタン+Mボタンを同時に押して、手動で切り替えてください。1分間ダイブモードを保持します。)

無減圧潜水時間が3分切ると、アラームが3秒間鳴ります。

【お知らせ】

- 1. 5m以深に潜降すると潜水開始と判断し、潜水時間のカウントを開始します。

ダイブモード (D I V E)

無減圧潜水のときは、以下の情報が表示されます。

- 無減圧潜水時間 (N D L) 無減圧のまま現在水深に滞留可能な時間
※最大 2 0 0 分
- 現在水深 (D E P T H) 現在の水深 1. 5 m から 0. 1 m 単位で表示
※最大 9 9. 9 m
- 潜水経過時間 潜水開始から経過した時間
※最大 5 9 9 分
- 体内窒素量インジケータ 体内に蓄積された窒素量の危険度を 1 0 段階で表示
- 体内酸素量または
酸素分圧インジケータ 体内に蓄積された酸素量の危険度を 1 0 段階で表示
または、現時点での酸素の分圧を 1 0 段階で表示
※危険度の高い方を表示
- 最大水深 (M A X) 潜水を開始してから一番深い深度
※最大 9 9. 9 m
- 現在水温 現時点での水温を表示
- 現在時刻 現在時刻を時分秒で表示 (T I M E 2 画面)
- 方位および方位角 方位を計測
- ストップウォッチ 時間を計測

ダイブモード (D I V E)

■基本画面

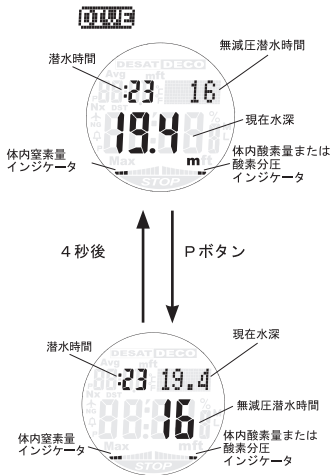
ダイブモードの基本画面では下記の情報が表示されます。

- ・潜水時間 (分)
- ・無減圧潜水時間 (分)
- ・現在水深
- ・体内窒素量インジケータ
- ・体内酸素量または酸素分圧インジケータ

Pボタンを押すと無減圧潜水時間と現在水深の表示位置が入れ替わります。

4秒後に自動で基本画面に戻ります。

基本画面は、現在水深を基本画面にするか、無減圧潜水を基本画面にするか、選ぶことができます。(各種設定の「DISP画面の設定」の107ページ参照ください。)



ダイブモード (DIVE)



■ Mボタンを押すと方位計測画面が表示されます。

方位計測画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在時刻
- ・ 方位
- ・ 方位角

Pボタンを押すと、再計測します。

Mボタンを1回押すとストップウォッチ画面に移ります。

方位計測に関しては、86ページを参照ください。



■ Mボタンを2回押すと、ストップウォッチ画面が表示されます。

ストップウォッチ画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在時刻
- ・ 計測時間

Mボタンを1回押すと基本画面に移ります。

ストップウォッチに関しては、90ページを参照ください。

ダイブモード (DIVE)



■ A ボタンを押すと最大水深画面が表示されます。

最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在水温
- ・ 無減圧潜水時間 (分)
- ・ 最大水深

4 秒後に自動で基本画面に戻ります。



■ L ボタンを押すと時計画面が表示されます。

時計画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 日付
- ・ 秒
- ・ 時
- ・ 分

時計画面は 1 分間表示し続けます。

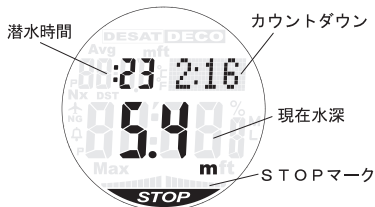
1 分後に自動的に基本画面に戻ります。

L ボタンを押すと、すぐに基本画面に戻ります。

ダイブモード (D I V E)

セーフティストップ (安全停止)

本製品には、5mで3分間の「安全停止」を推奨するための機能を搭載しています。



水深10m以深に潜水した後、無減圧潜水状態で浮上すると、水深6.5m時点から3分間のタイマーが自動作動し、水深1.0m～9.9mに停滞している間は続きます。この3分間のカウントダウンが終了するまでは、水面に浮上しないで「安全停止」を行うことを推奨します。

- ①水深6.5m時点で、セーフティストップ作動音が「ピッ」と鳴ります。
 - ・STOPマークが点灯します。
- ②カウントダウンタイマー [SAFE→5m→03:00] と表示され、3分間のタイマーが作動します。
また、30秒おきに残り1分まで [SAFE→5m→02:30] [SAFE→5m→02:00] と表示され、残り1分間はカウントダウン表示のみとなります。
- ③3分経過時点で、[↑OK] が5秒間表示されますので、水面へ浮上を開始してください。

セーフティストップの終了条件

- ・3分経過したとき
- ・水深1.0m以浅に浮上したとき
- ・水深10m以深へ再潜降したとき
(水深10m以深へ再潜降後、再び浮上し水深6.5mになると再びカウントダウンが始まります。)

ダイブモード (D I V E)

サーフェイスモード

サーフェイスモードは、ダイビング後、体内に窒素が残っている時の表示モードです。



通常の時計モードで表示する現在時刻、日付、曜日にくわえ、体内残留窒素排出時間や水面休憩時間などを表示します。

サーフェイスモードでは、以下の情報が表示されます。

- 体内残留窒素排出時間 (DESAT) ・体内に蓄積された窒素が体外に排出される時間
- 水面休憩時間 (SURF. T) ・ ダイビングを終了してからの経過時間
- 飛行機搭乗禁止マーク ・ 飛行機搭乗を禁止します (点灯中は禁止)
- 体内窒素量インジケータ ・ 体内に蓄積された窒素量の危険度を10段階で表示
- 体内酸素量または酸素分圧インジケータ ・ 体内に蓄積された酸素量の危険度を10段階で表示
または、現時点での酸素の分圧を10段階で表示
※危険度の高い方を表示

ダイブモード (D I V E)

- サーフェイスモードは、体内に残留している窒素や酸素が無くなっても、48時間経過しないと時計モードに戻りません。
- 体内に残留している窒素や酸素がある状態でも、48時間経過すると自動的に時計モードに戻ります。
- 飛行機搭乗禁止マークは、ダイビング後24時間点灯し続けます。
体内に残留している窒素や酸素が無くなって時計モードに切り替わっても、24時間経過するまでは点灯しています。

警告

以下の状態では、絶対に飛行機に搭乗しないでください。減圧症に罹患する危険性が高まります。

- ・飛行機搭乗禁止マークが点灯しているとき
- ・体内残留窒素排出時間 (DESAT) が残存しているとき

反復潜水

本製品は、ダイブモードからサーフェイスモードに切り替わった後、再度1.5m以深に潜降すると、反復潜水（新しいダイビング）として判断します。

- サーフェイスモードに切り替わるタイミングは、1.0m以浅に浮上してから10分後です。

ダイブモード (DIVE)

ナイトロックス (EANx) / ガスチェンジダイビング

- EANx: Enriched Air Nitrox (略称: ナイトロックス)
通常使用する圧縮空気 (酸素比率 21%) よりも酸素の割合を高くした混合ガス。

本製品は、通常使用する酸素比率 21% の圧縮空気と酸素比率 22% ~ 100% の EANx を最大 4 本まで使用したダイビングが可能です。

ナイトロックス (EANx) を使用したダイビングでは、通常のダイビング表示に加え、酸素の過剰摂取による酸素中毒を考慮し、酸素濃度と水深により、酸素による人体への影響をモニターします。

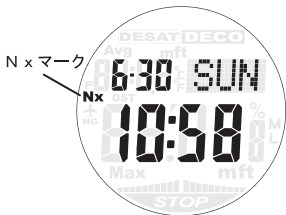
ナイトロックス (EANx) ダイビングの時は、以下の情報が表示されます。

- ・ N x マークの点灯

酸素比率が 22% ~ 100% のナイトロックス (EANx) に設定されると、ログモード以外の全てのモードで N x マークが点灯します。

体内酸素量及び酸素分圧は、酸素比率 21% : 圧縮空気でも常時モニターされています。

酸素比率の設定は、「プランモード、酸素比率を設定する」の 63 ページ参照ください。



ダイブモード (DIVE)

複数ガス設定時のダイビング(ガスチェンジ)

複数ガス設定時の通常画面はナイトロックス設定時と同様に[N x]マークが点灯しているだけでダイブモードの基本画面と同じです。

警告

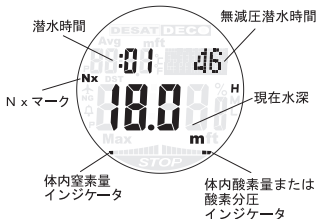
- 水中でのガスチェンジを伴うダイビングで使用する場合、水中ガスチェンジの講習を受けてから使用してください。

【お知らせ】

- ダイビング開始時にはGAS 1が適用されます。
- 空気でダイビングを開始し、水中でナイトロックスにガスチェンジするときは、GAS 1に酸素濃度21%を設定します。GAS 2から、ナイトロックスの酸素濃度を設定します。

複数ガス設定時の基本画面

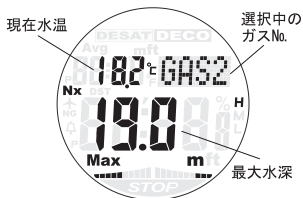
複数ガス設定時の基本画面では下記の情報が表示されます。



- ・潜水時間 (分)
- ・無減圧潜水時間(分)
- ・Nx マーク
- ・現在水深
- ・体内窒素量インジケータ
- ・体内酸素量または酸素分圧インジケータ

ダイブモード (DIVE)

■ A ボタンを押すと最大水深画面が表示されます。



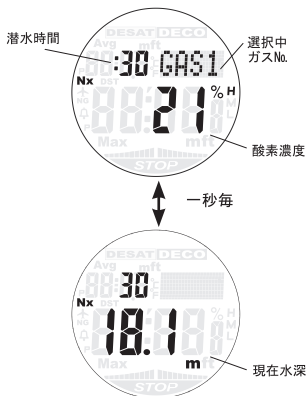
複数ガス設定時の最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在水温
- ・ 選択中のガスNo. (GAS 1 ~ GAS 4)
- ・ 最大水深

複数ガス設定時の場合のみ、無減圧潜水時間ではなく選択中のガスNo.が表示されます。

4秒後に自動で基本画面に戻ります。

ダイブモード (DIVE)



■ A ボタンを長押しするとガス切り替え画面が表示されます。

複数ガス設定時の最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・潜水時間 (分)
- ・選択中のガスNo. (GAS 1～GAS 4)
- ・設定ガス酸素濃度と現在水深
(表示が1秒毎に切り替わります。)

■設定ガス切り替え方

- ①基本画面からAボタンを長押し (約2秒) します。
- ②Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して、ガスNo. 「GAS 1～GAS 4」を設定します。
- ③Aボタン押して、基本画面に移行します。
 - ・ガスの切り替えが完了しました。

ダイブモード (D I V E)

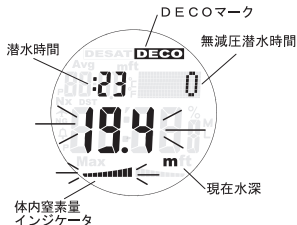
- この操作でガスの切り替えは可能ですが、潜水可能水深より深い場合には、切り替えが不可能となりボタンを押しても表示切替しません。
- ガス切り替え画面表示中に現在選択中のガスの潜水可能水深より深い水深となるとブザーが1回鳴って切り替え可能なガスに切り替わります。(未確定状態)切り替え可能な水深まで浮上して、再度切り替えを行うと切り替えが可能です。
- ガス切り替え画面で2～3分経過すると現在選択中のガスで確定し、基本画面に戻ります。
- 潜水可能水深は酸素分圧1.6 barとしています。ただし、ガス切り替え画面では酸素分圧1.4 bar以上になるとNxマークが点滅します。
- 複数ガス設定後のダイビングや、ナイトロックス設定でのダイビング後のサーフェス画面では、最大24時間Nxマークが点滅します。Nxマークが点滅している間にガス設定画面に入って酸素濃度確認をするとNxマーク点滅が消えます。
Nxマーク点滅状態でダイビングを行うと、6秒間ブザーが鳴り安全のため、酸素50%・窒素79%との設定で計算することになりますので、必ずプランモードにてガス設定を確認してください。

ダイブモード（減圧潜水）

ダイブモード（減圧潜水）

減圧潜水警告

ダイビング中に無減圧潜水時間を超え、減圧停止が必要になったときに警告します。



- ① DECOマークが点灯し、体内窒素量インジケータと現在水深が点滅します。
 - ② アラームが6秒間、鳴ります。
 - ③ その後、減圧潜水画面（減圧停止前）（41ページ）に自動で切り替わります。
 - ④ 指示された減圧停止水深で減圧停止を終了させると、DECOマークが消灯、体内窒素量インジケータが点灯に切り替わり、無減圧潜水となります。
- 一回でも警告が発生すれば、ダイブログに記録されます。

ダイブモード（減圧潜水）

減圧潜水（減圧停止前）

減圧潜水（減圧停止前）に切り替わると減圧停止深度が表示されます。

潜水状況に応じて3m間隔で表示します。（減圧停止深度表示、3m～33m）

減圧潜水（減圧停止前）のときは、以下の情報が表示されます。

- 減圧停止深度・・・・・・・・・・潜水状況に応じて減圧停止を行う深度を3m間隔で表示
- DECO・・・・・・・・・・減圧停止マーク
無減圧限界時間を超過した時に点灯
- 現在水深（DEPTH）・・・・・・・・・・現在の水深 1.5mから0.1m単位で表示
※最大99.9m
- 潜水経過時間・・・・・・・・・・潜水開始から経過した時間
※最大599分
- 体内窒素量インジケータ・・・・・・・・・・体内に蓄積された窒素量の危険度を10段階で表示
- 体内酸素量または酸素分圧インジケータ・・・・・・・・・・体内に蓄積された酸素量の危険度を10段階で表示
または、現時点での酸素の分圧を10段階で表示
※危険度の高い方を表示
- トータル浮上時間（TOTAL）・・・・・・・・・・減圧停止時間を含め、適切な浮上スピードで現在水深から水面まで浮上するのに必要な時間
- 最大水深（MAX）・・・・・・・・・・潜水を開始してから一番深い深度
※最大99.9m
- 現在水温・・・・・・・・・・現時点での水温を表示
- 現在時刻・・・・・・・・・・現在時刻を時分秒で表示（TIME 2画面）
- 方位および方位角・・・・・・・・・・方位を計測
- ストップウォッチ・・・・・・・・・・時間を計測

ダイブモード（減圧潜水）

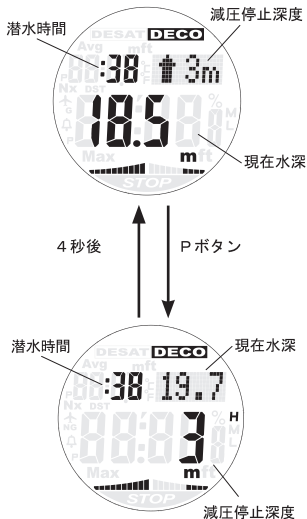
■減圧潜水画面（減圧停止前）

ダイブモードの減圧潜水基本画面（減圧停止前）では下記の情報が表示されます。

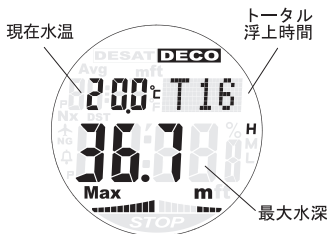
- ・潜水時間（分）
- ・減圧停止深度
- ・現在水深
- ・体内窒素量インジケータ
- ・体内酸素量または酸素分圧インジケータ

Pボタンを押すと減圧停止深度と現在水深の表示位置が入れ替わります。

4秒後に自動で減圧潜水基本画面（減圧停止前）に戻ります。



ダイブモード（減圧潜水）



■ Aボタンを押すと最大水深画面が表示されます。

最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在水温
- ・ トータル浮上時間（TOTAL）
- ・ 最大水深

4秒後に自動で減圧潜水基本画面（減圧停止前）に戻ります。



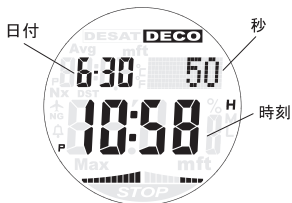
■ Mボタンを押すと方位計測画面が表示されます。

方位計測画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在時刻
- ・ 方位
- ・ 方位角

Pボタンを押すと、再計測します。
Mボタンを1回押すと押すと減圧潜水基本画面（減圧停止前）に戻ります。

ダイブモード（減圧潜水）



■ L ボタンを押すと時計画面が表示されます。

時計画面では以下の情報が表示されます。

- ・日付
- ・秒
- ・時
- ・分

時計画面は1分間表示し続けます。

1分後に自動的に減圧潜水基本画面（減圧停止前）に戻ります。

L ボタンを押すと、すぐに減圧潜水基本画面（減圧停止前）に戻ります。

減圧潜水（減圧停止中）

減圧停止深度に浮上すると、減圧潜水（減圧停止中）に切り替わり、STOPマークの点灯と減圧停止タイマーがスタートします。

●減圧停止の停止範囲は、 $-0.5 < \text{減圧停止指示水深} < +1 \text{ m}$ の間です。

停止範囲内の場合、カウントダウンを行います。

（例）減圧停止指示水深が3 mの場合、2.5 m～4 mが停止範囲です。

ダイブモード（減圧潜水）

減圧潜水（減圧停止中）のときは、以下の情報が表示されます。

- 減圧停止深度・・・・・・・・・・潜水状況に応じて減圧停止を行う深度を3m間隔で表示
- 減圧停止タイマー・・・・・・・・・・減圧停止に必要な時間を表示
- DECO・・・・・・・・・・減圧停止マーク
無減圧限界時間を超過した時に点灯
- 現在水深（DEPTH）・・・・・・・・・・現在の水深 1.5mから0.1m単位で表示
※最大99.9m
- 潜水経過時間・・・・・・・・・・潜水開始から経過した時間
※最大599分
- 体内窒素量インジケータ・・・・・・・・・・体内に蓄積された窒素量の危険度を10段階で表示
- 体内酸素量または
酸素分圧インジケータ・・・・・・・・・・体内に蓄積された酸素量の危険度を10段階で表示
または、現時点での酸素の分圧を10段階で表示
※危険度の高い方を表示
- トータル浮上時間（TOTAL）・・・・・・・・・・減圧停止時間を含め、適切な浮上スピードで
現在水深から水面まで浮上するのに必要な時間
- 最大水深（MAX）・・・・・・・・・・潜水を開始してから一番深い深度
※最大99.9m
- 現在水温・・・・・・・・・・現時点での水温を表示
- 現在時刻・・・・・・・・・・現在時刻を時分秒で表示（TIME2画面）
- 方位および方位角・・・・・・・・・・方位を計測

ダイブモード（減圧潜水）



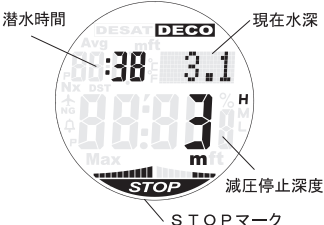
■減圧潜水画面（減圧停止中）

ダイブモードの減圧潜水基本画面（減圧停止中）では下記の情報が表示されます。

- ・潜水時間（分）
- ・減圧停止タイマー（分）
- ・減圧停止深度
- ・現在水深
- ・体内窒素量インジケータ
- ・体内酸素量または酸素分圧インジケータ

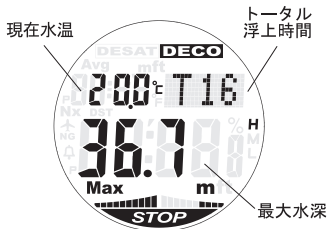


Pボタンを押すと減圧停止タイマーが現在水深の表示になり、現在水深の表示が減圧停止深度の表示になります。



4 秒後に自動で減圧潜水基本画面（減圧停止中）に戻ります。

ダイブモード（減圧潜水）



■ A ボタンを押すと最大水深画面が表示されます。

最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在水温
- ・ トータル浮上時間 (TOTAL)
- ・ 最大水深

4 秒後に自動で減圧潜水基本画面（減圧停止中）に戻ります。



■ M ボタンを押すと方位計測画面が表示されます。

方位計測画面では以下の情報が表示されます。

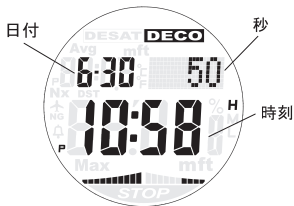
- ・ 現在時刻
- ・ 方位
- ・ 方位角

P ボタンを押すと、再計測します。
M ボタンを 1 回押すと押すと減圧潜水基本画面（減圧停止中）に戻ります。

ダイブモード（減圧潜水）

■ L ボタンを押すと時計画面が表示されます。

時計画面では以下の情報が表示されます。



- ・日付
- ・秒
- ・時
- ・分

時計画面は1分間表示し続けます。

1分後に自動に減圧潜水基本画面（減圧停止中）に戻ります。

L ボタンを押すと、すぐに減圧潜水基本画面（減圧停止中）に戻ります。

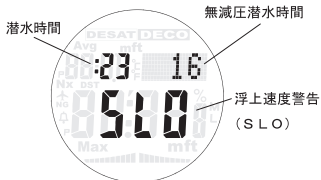
ダイビング中の警告

ダイビング中の警告

浮上速度警告

浮上速度をモニターし指定速度を超えた速度で浮上した時に警告します。

※指定浮上速度は10m/分です。



- 浮上速度が10m/分を超過したとき、メイン表示部に [SLO] の警告文字が表示されアラームが3秒間鳴ります。
- 浮上速度が適切な速度になると、[SLO] の警告文字が消え、警告が解除されます。
- 2回連続で浮上速度警告が発生した時は、ダイブログに記録されます。

ダイビング中の警告

減圧停止指示違反警告

減圧停止は、 $-0.5 < \text{減圧停止指示水深} < +1\text{m}$ の間、カウントダウンを行ないます。
減圧停止中に、減圧停止指示水深より -0.5m で浅くなった時、警告します。



- ①現在水深が減圧停止水深の範囲より浅くなると、[↓DOWN]の警告文字が流れます。
 - ②DECOMARK、STOPMARKが点滅し、アラームが6秒間鳴ります。
 - ③全圧停止指示水深の停止範囲で深に戻ると、自動的に警告を解除しますが、戻らないときは警告を継続します。
- 一回でも警告が発生すると、ダイブログに記録されます。

【お知らせ】

- 減圧停止指示水深が3mの場合、2.5mで浅で警告します。

減圧停止は指示された深度で行ってください。指示より浅い深度での減圧停止は行わないでください。

▲警告

- 減圧停止指示を無視して浮上した場合（1.5mで浅）
浮上してから10分間は、1分間ごとにアラームが鳴ります。10分間経過すると、その後48時間経過するまでダイビングでの使用不可能となります。
- 基本時計及びサーフェイスモード中は、
DECOMARK、STOPMARK、
現在時刻が点滅し、ロック状態になります。



ダイビング中の警告

体内酸素量警告

体内酸素量が許容範囲内を超えたときに警告します。



- ①体内酸素量及び酸素分圧インジケータが点滅する。
 - ②アラームが6秒間鳴ります。
 - ③体内酸素量が正常範囲に戻るまで警告が継続します。
- 一回でも警告が発生すればダイブログに記録されます。

酸素分圧警告

酸素分圧が1.4以上になった時に警告します。



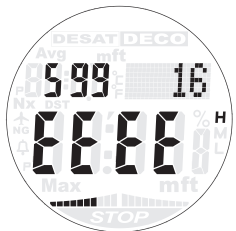
- ①体内酸素量及び酸素分圧インジケータが点滅し、同時に[P02]の文字がドット部に表示されます。
 - ②アラームが6秒間鳴ります。
 - ③酸素分圧が正常範囲に戻るまで警告が継続します。
- 一回でも警告が発生すればダイブログに記録されます。

ダイビング中の警告

計測範囲外警告

以下の条件にあてはまる場合、計測範囲外を警告します。

- ・深度が、99.9mを超過したとき
- ・潜水時間が599分を超過したとき
- ・減圧潜水時に、33m以深で減圧が必要とき
- ・減圧潜水時に、減圧停止時間が99分を超過、またはトータル浮上時間が99分を超えたとき



①メイン表示部に[EEEE]マークが点灯します。

②アラームが3秒間鳴ります。

- 一回でも警告が発生すればダイブログに記録されます。
- 計測範囲外警告が発生した時点で、危険なダイビングを行ったと判断し、水面浮上後48時間は、ダイビングで使用できなくなります。
- 基本時計及びサーフェイスモード中は、メイン表示部に[EEEE]マークと現在時刻を交互に表示し、ロック状態であることを表しています。

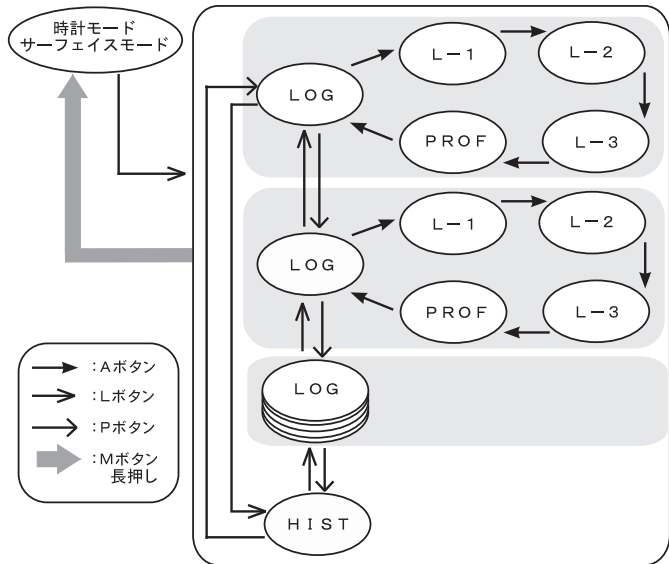


交互表示



ログモード (LOG)

ログモード



ログモード (LOG)

時計モード及びサーフェイスモードで使用できます。
30本分のログを最新のものから表示します。(初期設定時)

簡易的なダイビングプロフィールが確認できますので、潜水時間の経過に伴う深度変化を知ることが可能です。(1ダイブ 最大200分)
また、ログの最後にヒストリーが表示され、累計データが確認できます。

【お知らせ】

- ログに記録されるダイビングは、1. 5m以深に3分間以上潜水した時に記録されます。

ログモードにする

時計モードまたは、サーフェイスモードからLボタンを1回押してログモードにします。
画面に [LOG] が表示され、約1秒後にログモードに切り替わります。
ログモードに切り替わると、最新のログが表示されます。

Pボタンを押すと、ひとつ前のログデータに切り替わります。
また、Pボタンを押すと、それより以前のログデータが表示されます。

Lボタンを押すと、ヒストリー画面が表示されます。
また、Lボタンを押すと、保存されている一番古いログデータが表示されます。

Mボタンを長押し(2秒以上)すると、[TIME] [Hold]が点滅した後時計モードまたは、サーフェイスモードに移行します。

なにも操作をしないと、約2分後に時計モードまたは、サーフェイスモードに移行します。

ログモード (LOG)

ログを確認する

ログは、5つの画面から構成されています。

OLOG

ログNo. 潜った順に番号が付きます
潜水日時 ダイビングを行った年、月、日
ダイブNo. その日の何本目のダイビングかを表示
エントリー時刻 ダイビングを開始した時刻

OL-1

エキジット時刻 ダイビングを終了した時刻
潜水時間 ダイビング開始から終了までの時間
最大水深時水温 そのダイビングで一番深かった場所の水温

OL-2

最大水深 そのダイビングで一番深く潜った時の水深
平均水深 そのダイビングの水深の平均値
発生警告 そのダイビングで発生した警告

OL-3

使用酸素濃度 そのダイビングで使用したタンクの最後の酸素濃度

共通

体内窒素量 そのダイビングで蓄積された窒素量を10段階で表示
体内酸素量 そのダイビングで蓄積された酸素量を10段階で表示
or 酸素分圧 または、そのダイビングでの酸素の分圧を10段階で表示

ODIプロファイル

グラフ開始時刻 そのダイビングのグラフ開始時刻と最大水深を交互表示
or 最大水深
グラフ終了時刻 そのダイビングのグラフ終了時刻

ログモード (LOG)

ボタン操作



■ LOG

ログモードにすると、最新のダイビングログが表示されます。

LOG画面では以下の情報が表示されます。

- ・ログNo.
- ・潜水日時
- ・ダイブNo.
- ・エントリー時刻

Aボタンを押すと [L-1] 画面を表示します。



■ L-1

L-1画面では以下の情報が表示されます。

- ・エキジット時刻
- ・潜水時間
- ・最大水深時水温

Aボタンを押すと [L-2] 画面を表示します。

ログモード (LOG)

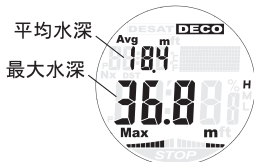


■ L-2

L-2画面では以下の情報が表示されます。

- ・最大水深
- ・平均水深
- ・発生警告

Aボタンを押すと[L-3]画面を表示します。



- ログモードで深度を表す場合 50m未満は、0.2m単位
50m以深は、0.4m単位 となります。

■ログに保存される警告

警告は以下の6種類があります。

- | | | |
|-----------|-----------|--|
| ○浮上速度警告 | ↑ SLOW | 浮上速度が10m/分を超えて浮上し、2回連続で警告されたとき |
| ○減圧潜水警告 | DECOマーク点灯 | ダイビング中に無減圧潜水時間を超え、減圧停止が必要になったとき |
| ○減圧停止違反警告 | ↓ DOWN | 減圧停止警告中に、現在水深が減圧停止指示水深よりも浅いとき |
| ○酸素分圧警告 | !! PO2 | 酸素分圧が1.4以上になったとき |
| ○体内酸素量警告 | !! O2 | 体内に蓄積された酸素量が危険値を超過したとき |
| ○計測範囲外警告 | LIMIT | 深度が、99.9mを超過したとき
潜水時間が599分を超過したとき
減圧潜水時に、33m以深で減圧が必要なとき
減圧潜水時に、減圧停止時間が99分を超過、または、トータル浮上時間が99分を超えたとき |

【お知らせ】

- ゲージモードで潜ったログには、警告は表示されません。

ログモード (LOG)



使用酸素濃度

■ L-3

L-3画面では以下の情報が表示されます。

- ・使用酸素濃度

Aボタンを押すと [PROF] 画面を表示します。

【お知らせ】

- 複数ガス設定で潜った場合は、一番最後に切り替えた酸素濃度を表示します。
- ゲージモードで潜ったログには、酸素濃度は表示されません。
ドット表示部に [GAUGE] と表示されます。

ログモード (LOG)



潜水経過時刻時の水深

ダイブプロファイルの画面に切り替えると、スクロールグラフを表示します。
P、Lを押すとスクロールが止まります。

- Pボタンを押すたびに、潜水経過時刻と潜水時刻の水深表示が1分間隔で進みます。
- Lボタンを押すたびに、潜水経過時刻と潜水時刻の水深表示が1分間隔で戻ります。
P又はLボタンを押し続けると早送りできます。
- グラフに表示されている時間は20分です。

詳細画面では、PまたはLボタンを押すと古いログ、新しいログ、履歴などへ切り替わります。

LOGモード中のどの画面からでもMボタン長押しで[TIME][Hold]表示の後、時計モードまたは、サーフェイスモードに切り替わります。

■ダイブプロファイル (PROF)

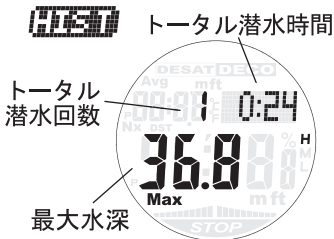
ダイブプロファイル (PROF) 画面では以下の情報が表示されます。

- ・潜水経過時刻
- ・グラフ
- ・潜水経過時刻時の水深

Aボタンを押すと [LOG] 画面を表示します。

ログモード (LOG)

履歴を確認する



①ログモードにします。

- ・時計モードまたは、サーフェイスモードからLボタンを1回押します。
- ・画面に [LOG] が表示され、約1秒後にログモードに切り替わります。
- ・ログモードに切り替わると、最新のログが表示されます。

②もう一度Lボタンを押します。

- ・画面に [HIST] と表示され約1秒後に履歴が表示されます。

履歴 (HIST) 画面では、以下の情報が表示されます。

- ・トータル潜水回数
- ・トータル潜水時間
- ・最大水深

プランモード (PLAN)

プランモード

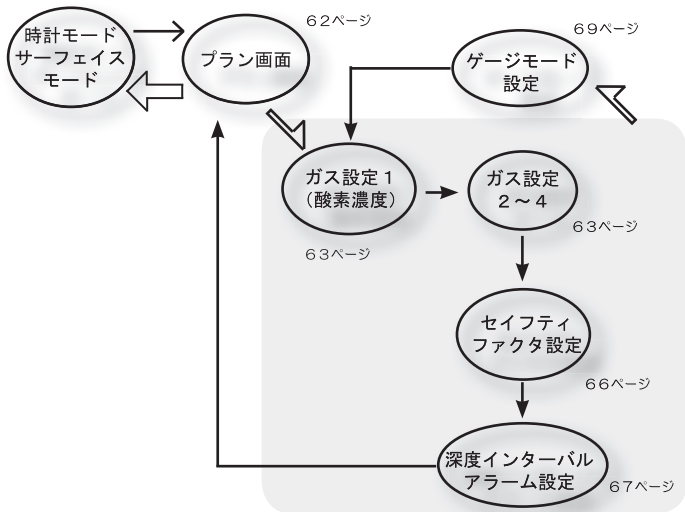
ゲージモード(OFF)

→ : Aボタン

⇨ : Aボタン長押し

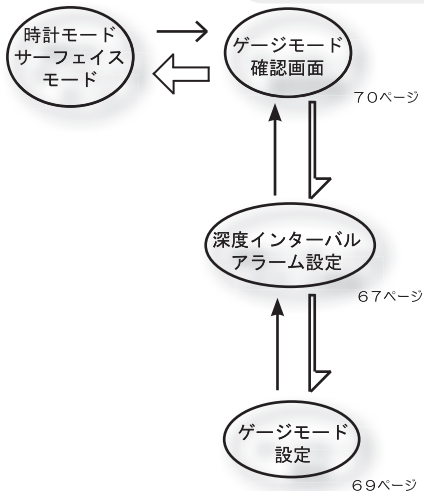
→ : Pボタン

⇨ : Mボタン長押し



プランモード (PLAN)

ゲージモード(ON)

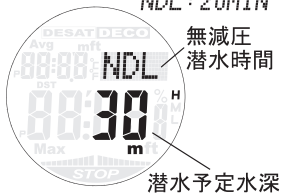


プランモード (PLAN)

プランモードでは、空気及び、ナイトロックス (EANx) ダイビング、におけるのセーフティファクタに対応した無減圧潜水時間及び、ゲージモードへの切り替え深度インターバルアラーム設定の確認ができます。

ゲージモード、酸素濃度設定、セーフティファクタ、深度インターバルアラームの設定はプランモードで行います。

プランを確認する



- ①時計モードまたは、サーフェイスモードからPボタンを1回押します。
 - ・画面に [PLAN] が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。
 - ・ゲージモード[ON]が表示された場合は[OFF]に切り替えてください。
(ゲージモードの切り替えは69ページ参照ください。)
- ②Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して、潜水予定水深「9~48m」を設定します。
 - ・潜水予定水深が3m間隔で表示され、その水深で計算された無減圧潜水時間が表示されます。
 - ・PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。

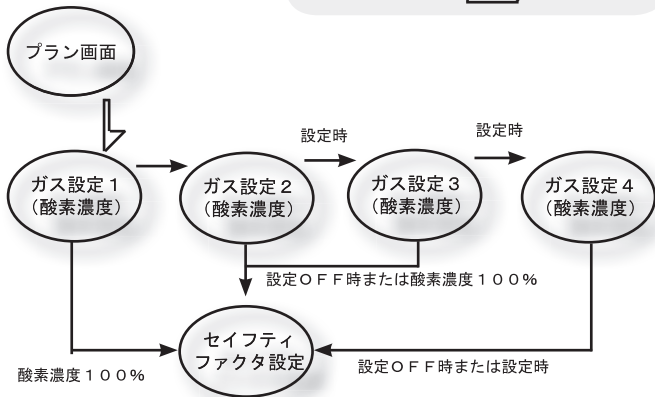
【お知らせ】

- 無減圧潜水時間は、その時設定されている酸素濃度、複数ガス設定時はガス1を使用、セーフティファクタなどをもとに計算します。

プランモード (PLAN)

酸素比率を設定する

→ : Aボタン ↵ : Aボタン長押し



プランモード (PLAN)

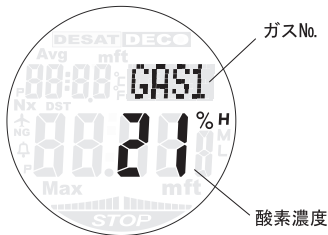
酸素比率設定では、酸素濃度の違うタンクを最大4本まで、登録することができます。
酸素濃度を複数設定する場合はGAS 1 < GAS 2 < GAS 3 < GAS 4となるように最大で100%まで設定が可能です。

酸素濃度を100%に設定した場合、登録数が残っていても以降の登録はできません。

酸素濃度を設定後の次の酸素濃度は、前の酸素濃度より低い%には設定できません。

GAS 1が22%以上または、複数のGASを設定している場合には[Nx]マークが点灯します。

酸素濃度を高く設定するほど、潜水可能な深度は浅くなります。



酸素比率設定では以下の情報が表示されます。

- ・ガスNo. (GAS 1～GAS 4)
- ・酸素濃度 (21%～100%)

- ①プランモードからAボタンを長押し(約2秒)します。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、[GAS 1][21～100%]が表示されたら指を離します。
- ②Pボタン(UP)またはLボタン(DOWN)を押して、酸素濃度「21%～100%」を設定します。
 - ・22%～100%がナイトロックス(EANx)になります。
 - ・Pボタン(UP)またはLボタン(DOWN)を押し続けると早送りできます。21%と32%と50%で一度停止します。
- ③Aボタンを押します。
 - ・GAS 1の設定が完了しました。

プランモード (PLAN)

- ④ GAS 2 の設定をします。[GAS 2][OFF]の表示が出ています。
- ・酸素濃度設定をしない場合は、A ボタンを押して、セーフティファクタ設定に移ります。
 - ・酸素濃度設定をする場合は、M ボタンを押して[OFF]から
[(前ガスNo.の設定濃度%+1%) ~ 100%]の表示に切り替えます。
- ⑤ P ボタン (UP) または L ボタン (DOWN) を押して、酸素濃度
「 (前ガスNo.の設定%+1%) ~ 100% 」を設定します。
- ・ P ボタン (UP) または L ボタン (DOWN) を押し続けると早送りできます。
2 2% ~ 100% の設定となるため [N x] マークが点灯します。
- ⑥ A ボタンを押します。
GAS 2 の設定が完了しました。

同じように GAS 3、4 を設定していきます。

酸素濃度表示を[OFF]にした場合は、残りの GAS No.があっても、A ボタンを押すとセーフティファクタ設定に移ります。

GAS 4 を設定した後は、A ボタンを押すとセーフティファクタ設定に移ります。

▲ 注意

- ナイトロックス (EAN x) ダイビングでは、1 ダイブ毎に酸素比率を設定しなければなりません。
- 再設定していない場合、N x マーク点滅し、ダイビング直後にブザーにて警告します。

【お知らせ】

- ナイトロックスを使用しない空気ダイビングの時は、GAS 1 を 21% ・他の GAS 設定を OFF にします。
- 水中ガスチェンジを伴わない通常のナイトロックスダイビングの場合ガス設定 GAS 1 に酸素濃度を設定します。

ナイトロックス (EAN x) 後に、酸素比率の再設定をしないで反復潜水を行なった場合は安全のため、酸素 50%、窒素 79% の設定になり計算されます。

設定後、24 時間で空気 (酸素比率 21%) の設定に自動的に戻り、[N x] マークが消えます。

プランモード (PLAN)

セーフティファクタを設定する

3段階のレベルから選択できます。初期設定はSF-0となっております。
セーフティレベルはSF-0、SF-1、SF-2、の順で安全係数は高くなります。

セーフティファクタ



Pボタンを押す毎に次のように設定されます。

- ・ [SF-0] (デフォルト) → [SF-1] → [SF-2]

Aボタンを押して、深度インターバルアラームの設定に移ります。

- ・ 設定が完了しました。
(セーフティレベルの内容については117ページご参照ください。)

●セーフティファクタ設定の注意

- ・ セーフティファクタは、一度設定すると、変更するまで有効になります。
ダイビング中、ダイビング後の演算にも影響します。
- ・ ダイブモードでの、セーフティファクタの設定状況確認、及び設定／変更はできません。

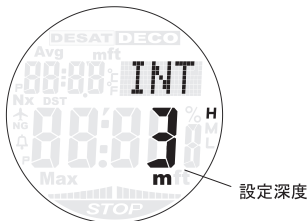
プランモード (PLAN)

深度インターバルアラームを設定する

設定した深度の倍数の深度を超えた時点で警告音が鳴ります。
ダイブモード、フリーダイビングモード、ゲージモードにて使用できます。

深度インターバル設定では以下の情報が表示されます。

- ・設定深度 (OFF、3～99m)



- ①セーフティファクタ設定からAボタンを押します。
 - ・ゲージモード (ON) の場合、時計モードからPボタンでプラン画面を表示すると [ゲージON] の表示になります。Aボタンを長押し (約2秒) します。
- ②Mボタンを押して、[OFF] から [3～99m] の表示に切り替えます。
- ③Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して、設定深度「3～99m」を設定します。
 - ・OFF、3、4、5～99mまで1m単位で設定可能です。
- ④Aボタンを押します。
設定が完了しました。

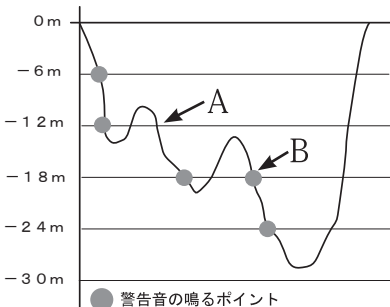
【お知らせ】

- 設定を一度行うとそのまま保持します。ダイビングごとに設定する必要はありません。
- 設定深度を深くすることにより、最大深度アラームとしても使用できます。

プランモード (PLAN)

■深度インターバルアラームの警告音のなる条件

- 深度 3m を超えたら機能します。
設定値の倍数の深度を超えたときに警告音が「ピッピッピ」と鳴ります。
- 設定深度とその倍数の深度付近で潜水する場合、頻繁に警告音が鳴るのを避けるために 3m の緩衝地帯があります。一旦 3m の緩衝領域外まで浮上後、潜降すると再度警告音が鳴ります。



(例) アラーム設定値が 6m の場合

- 深度設定を 6m に設定した場合、6、12、18、24、30、と 6 の倍数の深さを超えたときに鳴ります。

[A] の 12m の所では、一旦 11m の所まで浮上して再度 12m を超えています。緩衝領域の 3m を超えていないので音が鳴りません。

[B] の 18m の所では、一旦 14m まで浮上し、緩衝領域の 3m を超えているので再度鳴ります。

【お知らせ】

- ログの保存は行いません。
- 水深計の計測間隔は、ダイブモード・ゲージモードは 1 秒、フリーダイブモードは 0.5 秒です。その間に複数の設定警告発生ポイントを潜降した場合は、1 回の警告音となり、超えた設定警告発生ポイント分の回数は鳴りません。

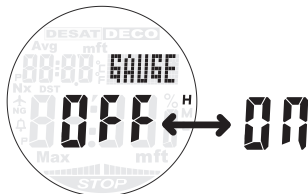
プランモード (PLAN)

ゲージモードを設定する

通常のダイビングに対して、窒素演算、無減圧潜水時間演算、各種警告を行わないモードです。通常のダイビングでは使用しません。

深度インターバルアラーム、浮上速度警告は機能します。

(浮上速度違反はログに記録されません。)



- ①酸素比率設定から深度インターバルアラーム設定までのどの画面からでもAボタンを押し(約2秒)で切り替えれます。
- ②Mボタンを押して、[OFF][ON]を設定します。
- ③Aボタンを押します。
ゲージモードの設定が完了しました。

⚠ 注意

- ゲージモードON設定後潜水した場合はゲージモードロック状態となります。その後48時間はゲージモード設定画面を開くことができなくなり、OFFおよび通常のダイブモードに切り替えることができません。
- ゲージモードはON設定後48時間又は、ON設定で潜水後(1.5m以上の深度で3分以上)48時間経過すると、自動でOFFになります。
- ゲージモード設定画面には、窒素累積状態や、ロック状態時の場合移行できません。

プランモード (PLAN)

ゲージモードを確認する

ゲージモードが[ON]に設定されているか確認できます。



時計モードまたは、サーフェイスモードからPボタンを1回押します。

- ・画面に [PLAN] が表示され、約1秒後にゲージモード確認画面に切り替わります。
- ・ゲージモード[ON]が表示されます。
- ・ゲージモードが[ON]に設定されていないときは、プラン画面に移動します。

ゲージモード確認画面からゲージモードの設定画面には、Aボタンを長押し[深度インターバルアラーム設定]に切り替わり後、Aボタンを長押しし[ゲージモード設定画面]に切り替わります。

【お知らせ】

- このゲージモード確認画面では、ゲージモードの設定の切り替えはできません。
(ゲージモードの切り替えは69ページ参照ください。)

高所潜水及び淡水ダイビングについて

警告

- 高所潜水を行う時、無限圧潜水時間（NDL）が海拔0mより短くなります。高所移動後15分以上経過した気圧の低い状態で、NDLを再確認ください。再確認しないと、潜水病になる可能性があります。

本製品は、ダイバーの移動した場所の大気圧を計測し、窒素、酸素の放出を無段階で自動計算しますので、高所でもスイッチ操作や特別な設定なしで使用できます。

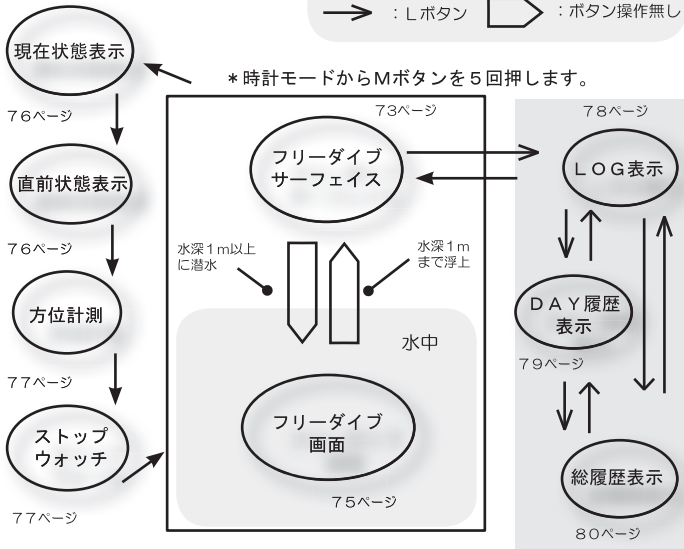
また、表示水深は海水を基準としているため、比重の軽い淡水中では少し浅く表示されます。これは、表示される水深が海水基準であることと共に、ダイバーの受けている水圧が、その海水水深相当であることも示しています。

この圧力基準で計算しますので、淡水中でも減圧計算には一切支障がありません。

フリーダイブモード (FREE)

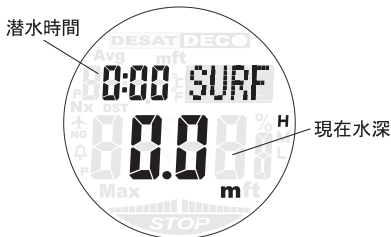
フリーダイブモード

- : Aボタン → : Pボタン
→ : Lボタン ◻ : ボタン操作無し



フリーダイブモード (FREE)

フリーダイブモードでは、現在水深、潜水時間を表示します。
窒素および酸素の体内蓄積量計算を行いません。



時計モードからMボタンを5回押すとフリーダイビングモードの画面が開きます。
ただし、通常ダイビング後に窒素排出時間が残っている場合、48時間ロック状態、充電不足の場合、ゲージモードロック状態の場合、フリーダイビングモードにならずにワールドタイムモードに移行します。

フリーダイビングモードを終了するにはMボタンを押すとワールドタイムモードに移行します。（フリーダイビングモードの各画面とも同様）

1m以上の水深とならない状態（SURF）が60分継続した場合には自動で時計モードに戻ります。また、1m以上の水深の場合にはMボタンを押しても終了しないでフリーモードを継続します。ただし、99分SURFが継続した場合には時計モードに戻ります。

【お知らせ】

- 1m以上深に潜降すると潜水開始と判断し、潜水時間のカウントを開始します。
- フリーダイブログを使用するには、ログ本数の設定が必要です。使用前に、各種設定のログ本数を設定してください。（ログ本数の設定108ページ参照ください。）

フリーダイブモード (FREE)

フリーダイブモードでの潜水のときは、以下の情報が表示されます。

- 現在水深 (DEPTH) 現在の水深 1mから0. 1m単位で表示
※最大99.9m
- 潜水経過時間 潜水開始から経過した時間
※最大99分
- 最大水深 (MAX) 潜水を開始してから一番深い深度
※最大99.9m
- 現在水温 現時点での水温を表示
- 現在時刻 現在時刻を時分秒で表示
- 方位および方位角 方位を計測
- ストップウォッチ 時間を計測

フリーダイブモード (FREE)

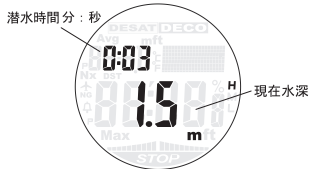
■フリーダイブモード基本画面

フリーダイブモードの基本画面では下記の情報が表示されます。

- ・潜水時間 (分: 秒)
- ・現在水深
- ・最大水深

1秒毎に現在水深と最大水深の表示が入れ替わります。

1m以上の潜水時間経過を表示します。
1m未満になるとフリーダイブサーフェイス画面に切り替わり、水面での休憩時間を表示します。



1秒毎

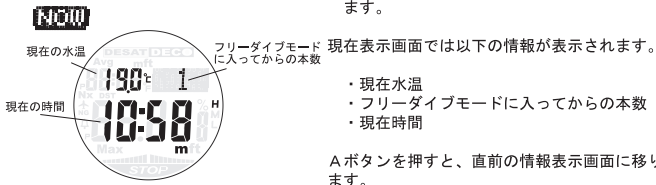


【お知らせ】

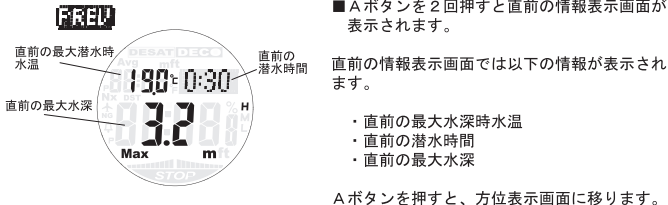
- 通常のダイビングモードのように、窒素演算等を行わないため、体内窒素量、体内酸素量インジケータの表示は行いません。また、減圧潜水や、浮上速度違反等の警告も行いません。

フリーダイブモード (FREE)

■ A ボタンを押すと現在表示画面が表示されます。



■ A ボタンを2回押すと直前の情報表示画面が表示されます。



フリーダイブモード (FREE)



- A ボタンを3回押すと方位計測画面が表示されます。

方位計測画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在時刻
- ・ 方位
- ・ 方位角

P ボタンを押すと、再計測します。

A ボタンを1回押すとストップウォッチ画面に移ります。

方位計測に関しては、86ページを参照ください。



- A ボタンを4回押すと、ストップウォッチ画面が表示されます。

ストップウォッチ画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在時刻
- ・ 計測時間

A ボタンを1回押すとフリーダイビングモード基本画面に移ります。

ストップウォッチに関しては、90ページを参照ください。

フリーダイブモード (FREE)



12:02

時：分と
月－日
交互表示



潜水時間
分：秒

最大水深

■ L ボタンを押すとフリーダイブログ画面が表示されます。

フリーダイブログ表示画面では以下の情報が表示されます。

- ・日付／エントリー時間
- ・潜水時間（分：秒）
- ・最大水深

L ボタンを押すと、DAYヒストリー画面に移ります。

P ボタンを押すと、ひとつ前のログデータに切り替わります。

A ボタンを押すと、フリーダイビング基本画面に移ります。

【お知らせ】

- フリーダイブモードのログの記録本数を設定していない場合、フリーダイブログ画面は表示されません。
- フリーダイブログ本数の設定は108ページを参照ください。

フリーダイブモード (FREE)

■ L ボタンを2回押すとDAYヒストリー画面が表示されます。

DAYヒストリー表示画面では以下の情報が表示されます。

- ・日付
- ・その日の平均水深
- ・その日の最長潜水時間 (分: 秒)
- ・その日の最大水深
- ・その日の潜水本数
- ・その日の潜水総時間 (時: 分)

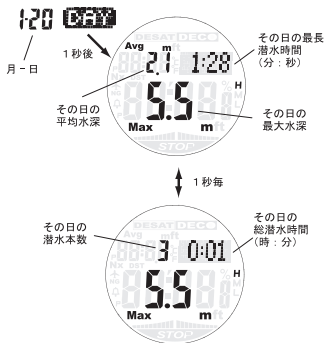
L ボタンを押すと、ヒストリー画面に移ります。

P ボタンを押すと、フリーダイブログ表示画面に移ります。

A ボタンを押すと、フリーダイビング基本画面に移ります。

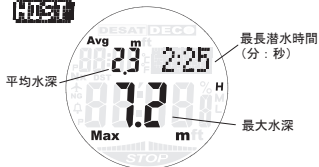
【お知らせ】

- DAY履歴は、その日のフリーダイビングの履歴を表示するものです。日付が変わるとクリアされます。



フリーダイブモード (FREE)

HIST



↑ ↓ 1秒毎



■ L ボタンを3回押すと履歴画面が表示されます。

履歴画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 平均水深
- ・ 最長潜水時間 (分: 秒)
- ・ 最大水深
- ・ 総潜水本数
- ・ 潜水総時間 (時: 分)

L ボタンを押すと、フリーダイブログ画面に移ります。

P ボタンを押すと、DAY履歴画面に移ります。

A ボタンを押すと、フリーダイビング基本画面に移ります。

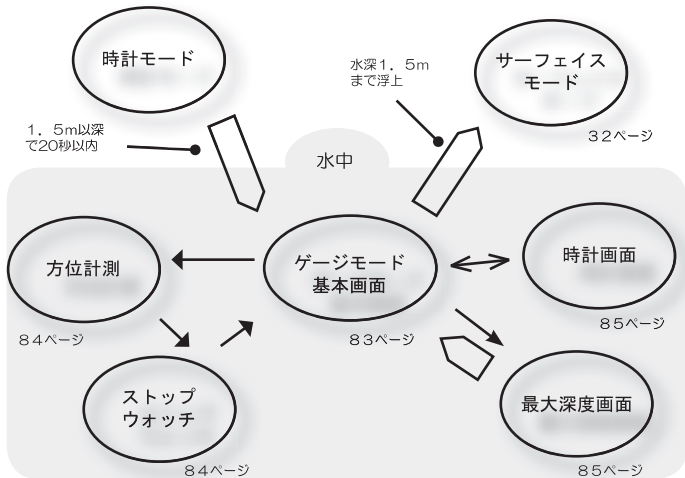
【お知らせ】

- 履歴はフリーダイビングの総履歴を表示するものです。通常のダイビングとは別のフリーダイビング専用の履歴となっています。

ゲージモード (GAUGE)

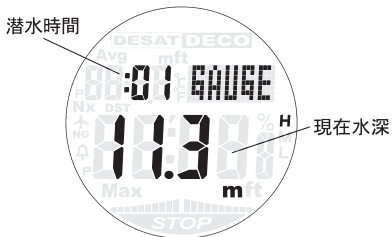
ゲージモード

- : Aボタン → : Lボタン
→ : Mボタン ◻ : ボタン操作無し



ゲージモード (GAUGE)

ゲージモードでは、現在水深、潜水時間を表示します。
窒素および酸素の体内蓄積量計算を行いません。



製品は、入水して、水深 1.5m 相当の圧力を感知してから 20 秒以内にゲージモードに自動的に切り替わります。(入水時に速やかにゲージモードに切り替えたい場合は、潜水直前に B ボタン + M ボタンを同時に押して、手動で切り替えてください。1 分間ゲージモードを保持します。)

ゲージモードへの切り替えは 69 ページを参照ください。

⚠ 注意

- ゲージモード ON 設定後潜水した場合は、ゲージモードロック状態となり、その後 48 時間はゲージモード設定画面を開くことができなくなり、OFF および通常のダイブモードに切り替えることができません。
- ゲージモードは ON 設定後 48 時間または、ON 設定で潜水後 (1.5m 以上の深度で 3 分以上) 48 時間経過すると、自動で OFF になります。

【お知らせ】

- 1.5m 以深に潜降すると潜水開始と判断し、潜水時間のカウントを開始します。

ゲージモード (GAUGE)

ゲージモードで潜水のときは、以下の情報が表示されます。

- 現在水深 (DEPTH) 現在の水深 1.5mから0.1m単位で表示
※最大99.9m
- 潜水経過時間 潜水開始から経過した時間
※最大599分
- 最大水深 (MAX) 潜水を開始してから一番深い深度
※最大99.9m
- 現在水温 現時点での水温を表示
- 現在時刻 現在時刻を時分秒で表示
- 方位および方位角 方位を計測
- ストップウォッチ 時間を計測

■ゲージモード基本画面

ゲージモードの基本画面では下記の情報が表示されます。



- ・潜水時間 (分)
- ・現在水深

ゲージモード (GAUGE)



■Mボタンを押すと方位計測画面が表示されます。

方位計測画面では以下の情報が表示されます。

- ・現在時刻
- ・方位
- ・方位角

Pボタンを押すと、再計測します。

Mボタンを1回押すとストップウォッチ画面に移ります。

方位計測に関しては、86ページを参照ください。



■Mボタンを2回押すと、ストップウォッチ画面が表示されます。

ストップウォッチ画面では以下の情報が表示されます。

- ・現在時刻
- ・計測時間

Mボタンを1回押すとゲージモード基本画面に移ります。

ストップウォッチに関しては、90ページを参照ください。

ゲージモード (GAUGE)



■ A ボタンを押すと最大水深画面が表示されます。

最大水深画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 現在水温
- ・ 無減圧潜水時間 (分)
- ・ 最大水深

4 秒後に自動でゲージモード基本画面に戻ります。



■ L ボタンを押すと時計画面が表示されます。

時計画面では以下の情報が表示されます。

- ・ 日付
- ・ 秒
- ・ 時
- ・ 分

時計画面は 1 分間表示し続けます。

1 分後に自動的に基本画面に戻ります。

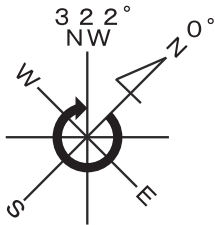
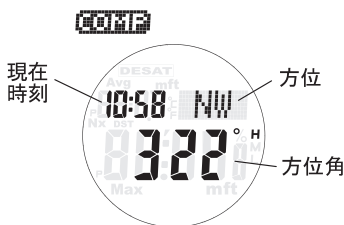
L ボタンを押すと、すぐにゲージモード基本画面に戻ります。

方位測定（COMP）

本製品に内蔵してある方位センサーで測定します。

方位略語（16方位）と方位角を表示します。

- ・正確に計測するために、「方位を補正する」「方位計測のご注意」をご覧ください。
- ・時計モード、サーフェイスモード、ダイブモードで使用できます。



方位角の見方

<方位の略語と意味>

方位	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE
意味	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東
方位	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW
意味	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西

方位測定（COMP）

方位を計測する

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを1回押すと方位測定モードに切り替わります。
 - ・[COMP]を表示して約1秒後に方位計測表示になります。
- ②本製品の12時位置が「測定方向」となります。
- ③本製品を水平に保ちながらPボタンを押します。
 - ・方位測定を開始すると約1秒後に略語と方位角を示します。

最初の計測結果を表示後も1秒毎に約60秒間、計測と表示を続けます。
計測が終わると、方位の略語と方位角の表示が「——」に変わります。

方位を補正する

計測の精度を上げるため、計測の前に方位を補正してください。

■方位補正の方法

「2点補正」正確な方位計と比較して、方位角がずれている場合や、ダイビング前の準備でお使いください。

◆補正時のご注意

- ・補正中は、時計を水平にして動かさないでください。
- ・測定の度に2点補正すれば、より正確に計測ができます。
- ・使用環境が変わる度に2点補正してください。
- ・家庭家電製品、OA機器、携帯電話の近くなど、強い磁力のある場所では、正しく補正できない可能性があります。
- ・セットする2点は正確に180度反対方向にしてください。

方位測定（COMP）

■ 2点補正

- ①方位測定モードでAボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、[CALIBRATION][−1−]が表示されてから指を離します。[CALIBRATION]は流れるように表示されます。
- ②Lボタンを押します。
 - ・1点目の補正計測を開始します。
 - ・補正計測中は「――」を表示します。
 - ・補正計測が成功すると[Turn 180°]が表示されます。また、1秒後に[CALIBRATION][−2−]が表示されます。[ERR][−1−]が表示された時は、もう一度、Lボタンを押して再計測してください。
- ③本製品を180°回転させます。
- ④Lボタンを押します。
 - ・2点目の補正計測を開始します。
 - ・補正計測中は「――」を表示します。
 - ・補正計測が成功すると[OK]が表示して、方位計測に切り替わります。
 - ・これで補正は終わりです。
 - ・[ERR][−2−]が表示された時は、もう一度手順②から操作してください。
- 2～3分間、何も操作しないと方位の略語と方位角の表示が[――]に変わり、その後2～3分後、自動的に補正画面を終了し、時計モードまたは、サーフェイスモード、ダイブモードに戻ります。

方位測定（COMP）

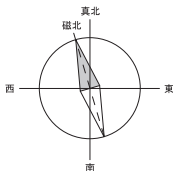
方位計測のご注意

●磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

- ・磁北：コンパス（方位磁針）の示す北
- ・真北：北極点の方向

右図のように、磁北と真北は一致しません。



●一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

●本製品は磁北を示します。

●使用場所について

地磁気に強く影響を及ぼすものの近くで計測すると、計測値に誤差が生じます。以下のものからは離してご使用ください。

- ・永久磁石（リストコンパス・磁気ネックレスなど）
- ・金属（金属製のドア、ロッカーなど）・高圧線
- ・架線・家庭電化製品（テレビ、パソコン、洗濯機、冷蔵庫など）

電車、船、飛行機などの乗り物の中では正確な計測はできません。

室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な測定ができません。

●保管場所について

本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす場合があります。

永久磁石（リストコンパス・磁気ネックレスなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、洗濯機、冷蔵庫など）などの強い磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

計測した方位に誤りがある場合、本体が磁気を帯びている可能性があります。

2点補正してください。

【お知らせ】

●計測中の60秒間は、オートライトは点灯しません。

●方位計測中にアラームなどの音が鳴った時や、Bボタンを押してライトを点灯させた時は一時的に計測を中止し、アラーム音の後やライト消灯後に計測を再開します。

ストップウォッチ (S T W)

1/10秒単位で999時間59分59秒9まで、計測できます。

計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

時計モード、サーフェイスモード、ダイブモードの時に使用できます。



ストップウォッチを選ぶ

時計モードまたは、サーフェイスモード、ダイブモードからMボタンを2回押してストップウォッチモードにします。

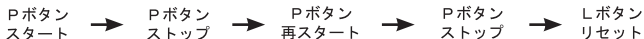
[S T W]を表示し、約1秒後にストップウォッチ表示に切り替わります。

ダイブモード時のストップウォッチは数分でダイブモードに画面が切り替わります。

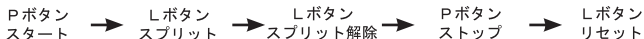
ストップウォッチ (STW)

計測する

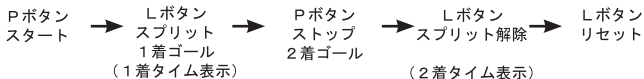
■経過時間計測



■スプリットタイム (途中経過時間) 計測



■1、2着同時計測



【お知らせ】

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり計測範囲を超えてもLボタンでリセットするまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を計測しません。

タイマー (TMR)

タイマーは1分から24時間まで設定することができます。
タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴ります。
時計モード、サーフェイスモードの時に使用できます。



タイマーを使う

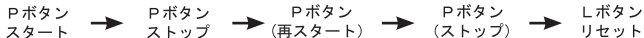
時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを3回おしてタイマーモードにします。
[TMR]を表示し、約1秒後にタイマー表示に切り替わります。

タイマー（TMR）

計測時間を設定する

- ①Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、タイマーの「時」表示が点滅したら指を離します。
- ②Mボタンを押して、「時」または「分」を選びます。
 - ・選んだ方が点滅表示になります。
- ③Pボタン（UP）またはLボタン（DOWN）を押して「時」または「分」を設定します。
 - ・PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。
 - ・計測時間を24時間に設定するときは、タイマー表示を「0H00'00」にしてください。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。
 - ・2～3分間何も操作しないと、自動的に設定画面を終了します。

計測する



【お知らせ】

- タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- ダイブモードなど、他のモードに切り替わっていても、タイムアップ音が鳴ります。

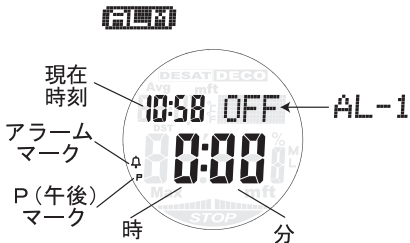
アラーム・時報 (ALM)

通常のアラーム4つ、スヌーズアラーム1つを設定できます。

通常のアラームは、設定した時刻になるとアラーム音が約10秒鳴ります。

スヌーズアラームは、設定した時刻になるとアラーム音が約10秒鳴り、5分おきに計7回繰り返します。

毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。



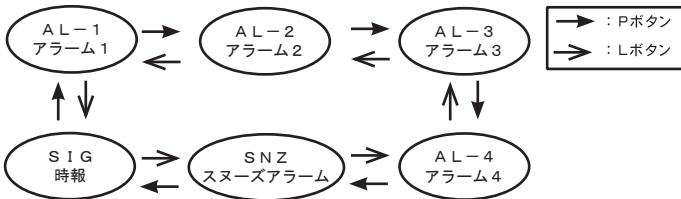
アラーム・時報を使う

時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを4回押してアラームモードにします。
[ALM]を表示し、約1秒後にアラーム番号 ([AL-1]~[AL-4][SNZ]) または[SIG]を表示します。

アラーム・時報 (ALM)

アラーム時刻を設定する

- ①アラームモードで、Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して、設定するアラーム番号を呼びます。



- ②Aボタンを2秒以上押し続けます。
・ [SET][Hold] が点滅した後、タイマーの「時」表示が点滅したら指を離します。
- ③Mボタンを押して、「時」または「分」を選びます。
・ 選んだ方が点滅表示になります。
- ④Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して「時」または「分」を設定します。
・ PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。
・ 12時間制で表示している場合、午後は[P]マークを表示します。
- ⑤Aボタンを押します。
・ 設定が完了します。
・ 時刻を設定したアラームは[ON]になります。
・ 設定画面のまま2～3分間、何も操作をしないと自動的に設定画面を終了します。
・ この場合も設定しようとしたアラームが[ON]になります。
・ 時報には、時刻設定はありません。

アラーム・時報（ALM）

アラーム音のON/OFF

- ①アラームモードで、Pボタン（UP）またはLボタン（DOWN）を押して、設定するアラーム番号を呼びます。
- ②Aボタンを押して、アラームまたは時報のON/OFFを切り替えます。
 - ・5つのアラームのうち1つ以上アラームをONにすると [ALMマーク]が点灯します。
 - ・スヌーズアラーム及び時報をONにしても、[ALMマーク]は点灯しません。

【お知らせ】

- いずれかのボタンを押すとアラーム音は止まります。
- ダイブモードなど、他の表示に切り替わっても、アラーム音が鳴ります。
- スヌーズアラームは、設定した時刻になるとアラーム音が約10秒鳴り、5分おきに計7回繰り返します。
- スヌーズ中に以下の操作をすると、スヌーズアラーム機能が中断されます。
 - ・スヌーズアラームをOFFに切り替えたとき
 - ・スヌーズアラームの時刻設定を始めたとき
 - ・時計モードで各種の設定を始めたとき
 - ・ホーム都市とワールドタイム都市が一致している時にワールドタイムでサマータイムの設定を変更したとき

ワールドタイム (WT)

世界48都市（31タイムゾーン）の時刻を知ることができます。
ワールドタイムモードで設定した都市を「ワールドタイム都市」といいます。
都市コードについては都市コード一覧表をご参照ください。（88ページ）



ワールドタイムモードを使う

時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを6回または5回押してワールドタイムモードにします。

- ・ [WT] を表示し、約1秒後に現在選択している都市コードと都市名（英語）が流れるように1回表示されます。その後は都市コードだけを表示します。

ワールドタイム (WT)

他のタイムゾーンの時刻を見る

ワールドタイムモードで、Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して都市コードを選びます。

- ・ 選択した都市の現在時刻を表示します。
- ・ PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。

サマータイム (DST) の設定

- ① ワールドタイムモードで、Pボタン (UP) またはLボタン (DOWN) を押して都市コードを選びます。
- ② Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・ [DST] [H o l d] [ON] または [DST] [H o l d] [OFF] が点滅した後、設定が切り替わります。
 - ・ [DST] [H o l d] [ON] が点滅するとサマータイムが設定されます。時刻もサマータイムで表示されます。
 - ・ [DST] [H o l d] [OFF] が点滅するとサマータイムが解除されて、通常の時刻 (スタンダードタイム) を表示します。
 - ・ 表示時刻をサマータイムに設定した時は [DST] を表示します。

【お知らせ】

- サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻 (スタンダードタイム) から、1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。
また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- ワールドタイムの都市に [UTC] を設定した場合、サマータイムの切り替えはできません。
- サマータイム設定は選択している都市のみ適用します。

ソーラー発電量表示

このモードでは、現在の光量での発電量を確認することができます。

またその発電量でのおおまかな充電予測時間がわかります。

ただし、電池電圧レベルの詳細な変動を捉えることはでき無い為、予測時間は目安としてお考えください。



発電量を表示する

時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを7回または6回押してソーラー発電量表示モードにします。

- ・ [SLR]を表示し、約1秒後に現在の充電予測時間と発電量を表示します。
- ・ Pボタンを押すと計測し直します。
- ・ 画面表示は1分間表示し続けます。

■ ソーラー充電量表示

充電予測時間：0～999時間

現在の発電量：0～1000

インジケータ：現在の発電量におおじて点滅速度が変わります。発電量が0の時は点滅表示なし。

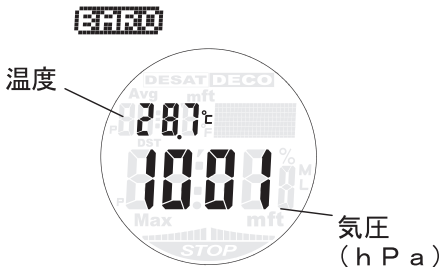
ソーラー充電量表示

【お知らせ】

- 充電予測時間は目安ですので、同条件で連続して充電を行っても予測時間で充電完了するとは限りません。また、同条件で継続充電を行っても予測時間がカウントダウンするとは限りません。

気圧／温度計（BARO）

現在の気圧と、温度を表示します。



気圧／温度を計測する

時計モードまたは、サーフェイスモードからMボタンを8回または7回押して気圧モードにします。

- ・ [BARO] を表示し、約 1 秒後に現在の気圧と、温度を表示します。
- ・ 5 秒ごとに計測します。P ボタンを押すと計測し直します。
- ・ 画面表示は、60 分間表示し続けます。

■ 気圧表示

計測単位： 1 hPa

計測範囲： 0～9999 hPa

計測範囲を超えたときは、数値表示部が「——」ドット部に [ERR] と表示します。

■ 温度表示

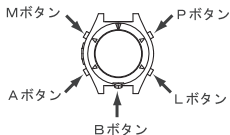
計測単位： 0.1°C

計測範囲： -10°C～60°C

計測範囲を超えたときは、数値表示部が「——」ドット部に [ERR] と表示します。

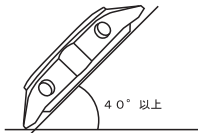
ライト

暗い所で画面の表示を見る時に、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。
また、暗い所で製品の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。



● ボタンを押して点灯させる。

- ・ Bボタンを押すと、ライトが点灯します。
ライト点灯中にアラーム音が鳴ると消灯します。
センサー計測中は、ライトは点灯しません。



● 自動的に点灯させる。(オートライト)

- ・ オートライト機能が設定されているとき、本体を40°以上傾けるとライトが点灯します。

【お知らせ】

- 明るいところでは、オートライトは点灯しません。
- 以下の状態のとき、オートライト機能は、作動しません。
 - ・ アラーム音が鳴っているとき。
 - ・ 方位測定モードで補正しているとき。
- オートライト機能は、センサー計測後に作動します。
 - ・ タイミングによっては、遅れて点灯することがあります。

ライト

オートライトの設定／解除

時計モードまたはサーフェイスモードでBボタンを3秒以上押し続けます。

- ・オートライトを設定した時は、ドット表示部に [L T] を表示します。
- ・オートライトを解除した時は、ドット表示部に [O F F] を表示します。

【お知らせ】

- 充電量が低下し [C H G] 表示されると、オートライト機能が解除されます。

◆オートライトに関するご注意

- ・本製品が水平状態から 15° 以上傾いていると、点灯しにくくなります。
- ・本製品が裾などに隠れていると、ライトが頻繁に点灯して充電量が低下します。
- ・静電気や磁気の影響で、オートライトが作動しないことがあります。
その場合、もう一度、水平状態にしてから傾けてください。
- ・本製品を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。
これはオートライトの作動音で故障ではありません。

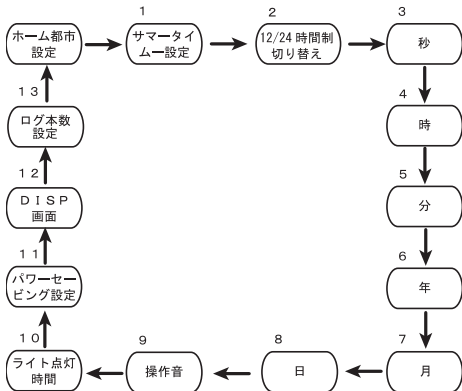
点灯時間を切り替えることができます。

各種設定のライト点灯時間の設定（106ページ）をご参照ください。

各種設定

時刻設定のほかに、以下の設定を変更することができます。

- ・ 操作音
- ・ ライト点灯時間
- ・ パワーセービング設定
- ・ DISP画面設定
- ・ ログ本数設定
- ・ ホーム都市設定
- ・ サマータイム設定
- ・ 12/24時間制切り替え
- ・ 秒
- ・ 時
- ・ 分
- ・ 年
- ・ 月
- ・ 日
- ・ 操作音
- ・ ライト点灯時間



・ 数字は、Mボタンを押す回数を表しています。

各種設定

ボタン操作音の設定

ボタンを押した時に鳴る操作音のあり／なしを選ぶことができます。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②Mボタンを9回押します。
 - ・操作音のあり／なしを選ぶ画面になります。
 - ・[key♪]または[MUTE]が表示されます。
- ③Pボタンを押して[key♪]（操作音あり）または[MUTE]（操作音なし）を選びます。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。

【お知らせ】

- 操作音が鳴らないように設定した場合でも、アラーム音、時報、タイマー音、警告音は鳴ります。

各種設定

ライト点灯時間の設定

ライトの点灯時間の設定ができます。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②Mボタンを10回押します。
 - ・画面上に[LIGHT]が表示されます。
 - ・画面中段に[1]または[3]が点灯されます。
- ③Pボタンを押して、[1]（1.5秒間点灯）または[3]（3秒間点灯）を選びます。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。

節電（パワーセービング機能）の設定／解除

節電（パワーセービング機能）の設定／解除ができます。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②Mボタンを11回押します。
 - ・画面上に[POWER SAVING]と流れるように表示され、画面中段に[ON]または[OFF]が点滅します。
- ③Pボタンを押して、ON（設定）またはOFF（解除）を選びます。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。

各種設定

DISP画面の設定

DISP画面の設定ができます。

ダイブモードの基本画面を現在水深にするか、無減圧潜水時間にするか選ぶことができます。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②Mボタンを12回押します。
 - ・画面上に[DISP]が表示され約1秒後に設定画面に切り替わります。
 - ・画面に[DEP][1]または、[NDL][2]が表示されます。
- ③Pボタンを押して、[DEP][1]（現在水深）または[NDL][2]（無減圧潜水時間）を選びます。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。

各種設定

ログ本数の設定

ログ本数の設定ができます。

スクーバダイビングとフリーダイビングの最大本数を設定できます。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][H o l d]が点滅した後、約1秒の[C I T Y]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②Mボタンを13回押します。
 - ・画面上に[LOG]が表示され設定画面に切り替わります。
 - ・画面の中段に[30:0]が表示されます。
- ③PボタンまたはLボタンを押して、[30:0]、[0:60]、[5:50]の中から選びます。
- ④Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。



各種設定

単位の設定

ホーム都市を東京（TYO）以外に設定すると、温度と深度の単位を変更できます。
ホーム都市が東京（TYO）の場合は、単位を変更することはできません。
ホーム都市が東京（TYO）の場合、単位表示は、温度／摂氏、深度／メートルです。

- ①時計モードまたは、サーフェイスモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
 - ・[SET][Hold]が点滅した後、約1秒の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英語）が流れるように表示されたら指を離します。
- ②ホーム都市を東京（TYO）以外の都市をPボタンまたはLボタンを押して、選びます。
 - ・PボタンまたはLボタンを押し続けると早送りできます。
- ③Mボタンを14回押します。
 - ・ドット表示部に[UNIT]が表示され、画面上部に[°C]または、[°F]が表示され画面下部に[m]または、[ft]が表示されます。
- ④Pボタンを押して、[m]と[ft]を選びます。
Lボタンを押して、[°C]と[°F]を選びます。
- ⑤Aボタンを押します。
 - ・設定が完了します。

故障かな？と思った時は

状況	原因と対処
画面表示が薄い	低温時には、表示が薄くなることがあります。しばらく様子を見てください。しばらく経っても状況が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ガラス画面の内側が曇る	急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがあります。すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、内部に水が残っている場合は、直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
買った時からログが記録されている	工場品質検査のため、工場出荷時からテストデータが入っています。故障ではありません。
水面上でDECOマーク、STOPマークが点滅している	減圧停止指示違反をしたためです。48時間ダイビングでの使用はできません。
水面上でEEEEマークと時刻が交互表示している	計測範囲外が警告されたためです。48時間ダイビングでの使用ができません。
ダイブモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> ・減圧停止指示違反または計測範囲外が警告されています。ダイビングには使用できません。警告が発令してから48時間経過すれば自動的に復帰します。 ・高度が6000m相当と識別されています。しばらく時間をおくか、高度の低い場所に移動してください。 ・充電不足が考えられます。充電レベルを確認してください。 参照 充電不足や充電切れ 17ページ ・ゲージモードで潜水した場合は、ゲージモードロック状態48時間後にゲージモードロック状態が解除されます。 <p>上記以外であれば、センサーの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

故障かな？と思った時は

状況	原因と対処
フリーダイブモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> ・減圧停止指示違反または計測範囲外が警告されています。ダイビングには使用できません。警告が発令してから48時間経過すれば自動的に復帰します。 ・高度が6000m相当と識別されています。しばらく時間をおくか、高度の低い場所に移動してください。 ・充電不足が考えられます。充電レベルを確認してください。 参照 充電不足や充電切れ 17ページ ・通常ダイビング後に窒素排出時間が残っている場合 ・ゲージモードで潜水した場合は、ゲージモードロック状態48時間後にゲージモードロック状態が解除されます。 <p>上記以外であれば、センサーの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
現在時刻の表示が数時間ずれている	<p>ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。</p> <p>参照 ホーム都市、サマータイムの設定 21ページ</p>
現在時刻の表示が1時間ずれている	<p>サマータイムに対応した時刻設定をする必要があります。</p> <p>参照 ホーム都市、サマータイムの設定 21ページ</p>
計測中に [ERR] を表示した	<p>センサーや内部回路が故障すると [ERR] (エラー) を表示し、センサー機能が使用できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測中に [ERR] を表示したときは、計測をやり直してください。もう一度 [ERR] を表示した場合、センサーの異常が考えられます。 ・ [ERR] 表示が消えない場合、センサーの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな？と思った時は

状況	原因と対処
方位計測にて2点補正実施後、[ERR]を表示した。	補正画面に表示された後に [ERR] (エラー) が表示された場合、センサーの異常が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">・ [ERR] 表示が約1秒後に消えた場合、もう一度補正してください。・ [ERR] 表示が消えない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
正確な方位計測ができない	<ul style="list-style-type: none">・ 2点補正が正確ではない。 参照 2点補正 88ページ <ul style="list-style-type: none">・ 家電、橋梁、鉄骨、架線など強力な磁気の近くでは、鉄製のものから離れてください。また、電車、船などで方位計測はできません。 参照 方位計測のご注意 89ページ
同じ場所で計測結果が異なる	近くの高圧電線などの影響により、地磁気の検出が安定していません。高圧電線などから離れ、計測し直してください。
室内で方位計測ができない	テレビ、パソコン、スピーカーなど、磁気の方向を乱す物体が地磁気の検出を妨げています。影響を及ぼすものから離れるか、もしくは屋外で再計測してください。特に鉄筋コンクリート構造の室内では、正確な計測はできません。また、電車や航空機の中での計測はできません。
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	サマータイム設定 (スタンダードタイム/サマータイム) が正しくありません。 参照 ホーム都市、サマータイムの設定 21ページ

故障かな？と思った時は

状況	原因と対処
[H] [M] [L] が全て点滅している	<p>充電回復モードの状態です。回復するまで（約15分）お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。</p> <p>参考 充電の方法 16ページ</p> <ul style="list-style-type: none">・センサーを短時間に連続して使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。充電回復モード中は[H] [M] [L] が全て点滅します。「充電不足」と同じ状態になり、使用できる機能が制限されますが、復帰後は通常の状態に戻ります。参考 充電不足や充電切れ 17ページ・[H] [M] [L] と[CHG] が一緒に点滅しているときは、充電量が著しく低下しています。すぐに光に当てて充電してください。
光に当てて充電しても使用時間が短くなった	<p>バッテリー（二次電池）は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありませんが、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化していきます。ご使用に支障をきたすような状態であれば電池交換をお勧めしますので、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

お手入れについて

■お手入れのしかた

ダイブコンピュータも衣類同様、直接身につけるものです。長くご使用いただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。特に海水でのダイビング後は、真水にしばらく浸してから、よく洗い流してください。

バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用を中止してください。点検・修理や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店にご相談ください。

金属バンドおよび樹脂バンドの金属部分は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。

ボタンは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、ボタンを押ししたりしてください。

防水性を保つために定期的（2～3年を目安）な気密検査をお勧めします。気密検査で気密性に問題が発覚した場合は、パッキン類の交換などメンテナンスをお受けください。

アフターサービスについて

■メーカー保証

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りの上、保証書に記載された所定のお手続きをお願いいたします。
(お手続きがない場合、保証されないことがあります。)
- ・保証期間は1年間です。
- ・機能を維持するためにも毎年のメンテナンスをお受けになることをお勧めいたします。尚、1年間の保証期間には、毎年のメンテナンス費用は含まれていません。
* 保証規程は保証書をご覧ください。

■修理に出す際の注意点

- ・記録されている全てのログデータは、修理を受ける際に消去されることがありますので、ログブック等に控えてください。
- ・修理にお出しになる際は依頼内容、氏名、住所、電話番号、を明記し、保証書を同封の上、お買い上げ販売店を通じてピーイズムメンテナンス係りへお送りください。

■部品の保有期間について

弊社はダイブコンピュータ補修用の性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。

製品仕様

- 時間精度 : 平均月差±15秒
基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日
12/24時間制表示、フルオートカレンダー(～2099年)

- センサー計測精度
 - 方位センサー : ±10°以内
 - 温度センサー : ±2°C以内
 - 圧力センサー : ±1%+0.5m

- 計測間隔
 - 深度計測 : 1秒 フリーダイビング時0.5秒
 - 水温計測 : 1秒
 - 気圧計測 : 20秒

- 計測範囲
 - 深度 : 1.0m～99.9m (海水を基準にしています)
 - 潜水時間 : 0分～599分
 - 動作気圧 : 460hPa以上 (高度約6000mまで)
 - 温度 : -10°C～60°C
 - 方位 : 0～359° 方位補正機能(2点)

- 酸素比率 : 21%(圧縮空気)～100% 設定間隔1% 設定最大4本

- 防水性能 : 100m

- ログデータ : スクーバダイビングログ/フリーダイビングログ
「30本/0本」(デフォルト)
「0本/60本」
「5本/50本」

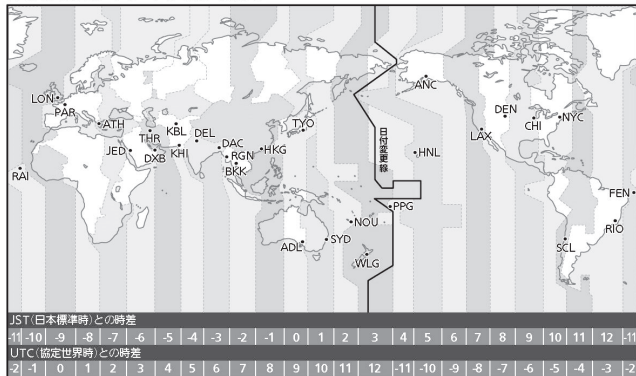
製品仕様

- ストップウォッチ機能 : 計測単位 1 / 10 秒
 計測範囲 999 時間 59 分 59.9 秒
 計測精度 ±0.0006 %
 計測機能 通常計測、積算計測、
 スプリット計測、1・2 着同時計測
- アラーム機能 : 時刻アラーム
 アラーム数 4 本
 スヌーズアラーム数 1 本
 セット単位 時・分
 アラーム報音時間 10 秒間
 時報 毎正時に 2 回電子音で報知
- その他 : LED ライト、ライト点灯時間切り替え、フルオートライト、
 パワーセービング機能、充電量表示、操作音の設定/解除
- 使用電池 : 二次電池
 フル充電状態からソーラー発電無での状態の駆動時間
 約 1 ヶ月 (1 日 1 ダイブ 60 分の時)
- 減圧モデル : AA ビュールマン 16 組織
- 高所潜水 : 気圧連動無段階計算方式
 ダイバーの移動した場所の大気圧を計測し、大気圧に応じて
 窒素、酸素の蓄積放出を無段階に計算します。
 高度ランク切り替えより精度の高い計算方式です。
- セーフティファクタ : 3 レベル切り替え方式
 各セーフティレベルの設定の目安 (1013 hPa の時の NDL)

水深 (m)	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48
SF-0	200	104	66	46	35	25	20	16	14	11	9	8	7	6
SF-1	200	95	60	44	33	23	19	16	13	11	9	8	7	6
SF-2	180	80	52	39	30	22	17	15	13	11	8	7	6	5

都市コード一覧

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。



都市コード一覧表

都市コード	タイムゾーン	都市名
UTC(協定世界時)	0	
LISBON	LIS	リスボン
LONDON	LON	ロンドン
MADRID	MAD	マドリッド
PARIS	PAR	パリ
ROME	ROM	ローマ
BERLIN	BER	ベルリン
STOCKHOLM	STO	ストックホルム
ATHENS	ATH	アテネ
CAIRO	CAI	カイロ

都市コード一覧

都市コード一覧表
コード

タイムゾーン

都市名

JERUSALEM	JRS	+2	エルサレム
MOSCOW	MOW	+3	モスクワ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3. 5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4. 5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5. 5	デリー
KATHMANDU	KTM	+5. 7 5	カトマンズ
DAHKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6. 5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
SINGAPORE	SIN	+8	シンガポール
HONGKONG	HKG	+8	香港
BEIJING	BJS	+8	北京
TAIPEI	TPE	+8	台北
SEOUL	SEL	+9	ソウル
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+9. 5	アデレード
GUAM	GUM	+10	グアム
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	-11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	-10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	-9	アンカレジ
VANCOUVER	YVR	-8	バンクーバー
LOS ANGELES	LAX	-8	ロサンゼルス
EDMONTON	YEA	-7	エドモントン
DENVER	DEN	-7	デンバー
MEXICO CITY	MEX	-6	メキシコシティ
CHICAGO	CHI	-6	シカゴ
NEW YORK	NYC	-5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	-4	サンティアゴ
HALIFAX	YHZ	-4	ハリファックス

都市コード一覧

都市コード一覧表
コード

タイムゾーン

都市名

SAINT JOHN'S	YYT	-3.5	セントジョンズ
RIO DE JANEIRO	RIO	-3	リオデジャネイロ
F. DENORONHA	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ
PRAIA	RAI	-1	プライア

- 2012年12月現在、モスクワの時差は、「+4」に変更されていますが、本製品では対応しておりません。サマータイムを1時間進めてご使用ください。
- この表は、本製品の都市コード一覧です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は、協定世界時（UTC）を基準にしています。

m e m o

m e m o

m e m o

m e m o

20180226MDC

株式会社ビーイズム

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町16-8 TOKKI 3F

電話 (03)5640-8126 (代表) FAX(03)5640-8131

Mail: info@bism.co.jp <http://www.bism.co.jp>